ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書／ライオン誌創刊号復刻版

ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める

第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。
新書判 224ページ
1部500円･送料実費

●大口注文割引
100～499部＝1部450円
500部以上＝1部400円

ライオンズ新書02 LCIF早分かり

第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。
新書判 184ページ
1部400円･送料実費

●大口注文割引
100～499部＝1部350円
500部以上＝1部300円

『ライオン誌』日本語版 創刊号復刻版

第1版第5刷

1958年創刊の『ライオン誌』日本語版を復刻。日本にライオニズムがもたらされて6年目、誌面から草創期の活気がひしひしと伝わってくる。
B5判 68ページ
1部300円･送料実費

●大口注文割引
100～499部＝1部250円
500部以上＝1部200円

ライオンズスクール･シリーズ

初級編･ライオンズクラブ入門

第3版第5刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円･送料実費

中級編･クラブ運営の基礎知識

第3版第3刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円･送料実費

上級編･リーダーシップを養う

第1版第5刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円･送料実費

●大口注文割引（ライオンズスクール･シリーズ）：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料（組み合わせは問いません）。※ただし、急ぎの場合は実費請求
■お申し込みはEメール（office@thelion.jp）またはファクス（03-6674-8781）でお願いします

LION MAGAZINE IN JAPAN
February 2016, Vol.58 No.8

We Serve CONTENTS

■2016年2月号
表紙
岐阜県高山市
伝統的建造物群保存地区
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President

Dr. Jitsuhiro Yamada
Lions Clubs International
President

国際大会：
ライオンとして最高の1週間

日本には「おもてなし」という伝統文化を表す言葉があります。皆さんはショッピングや食事、あらゆる場所でおもてなしを体験するでしょう。デパートでは仕立ての良いユニフォームを着た店員たちが皆さんをお迎えし、エレベーター乗り場ではお辞儀と丁寧なあいさつで案内してくれます。エレベーターガールまたはボーイは呼び出しボタンを押した後、腕をきっちり90度に上げ掲げ、お客様を到着したエレベーターへと導きます。それは大変高度な所作であり、接待です。すてきなレストランで外食をすると、食事が終わった後にスタッフが並んでお辞儀をし、外の歩道までエスコートしてくれます。この優雅さは他者への強い感受性、「おもいやり」から来るものです。

皆さんは6月24〜28日に福岡で開催される第99回国際大会に参加すれば、このすばらしいおもてなしの文化を体験することが出来ます。しかしライオンである皆さんは一般の旅行者よりも更に、温かな歓迎の雰囲気を感じるかもしれません。皆さんはライオンズの会合やライオンの仲間たちと共に奉仕活動に参加した時の、仲間意識や誇らしく思う気持ちをご存じでしょう。ライオンズ国際大会ではその気持ちが何倍にも増幅されます。世界中のライオンたちと共に過ごす時間は、信じられない程高揚するすばらしいものなのです。

福岡国際大会を特集した国際本部版『ライオン誌』2016年2月号表紙には、第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会のメンバーが登場（前方左･不老安正委員長、北島建則実行委員長、後方左･中川法人パレード委員会副委員長、大西宏治パレード委員会委員長、山本泰輔PR委員会副委員長）　写真／田中勝明　撮影協力／櫛田神社

国際大会に参加しなくても、立派なライオンになることも、ライオンたちとの友情を深めることも出来ます。しかし大会に参加すれば、ライオニズムの広がりと重要性の理解を深め、ライオンであることに新たな喜びを見いだすはずです。

国際大会は世界中から志を同じくする人々が集う機会です。インターナショナル・パレードに参加したり、心動かされる講演を聴いたり、ライオニズムについて最新のニュースを入手したり、世界的なエンターテインメントを楽しんだり、私たちの協会の未来を決定づける一助となったり、事業やPR、会員増強の成功例から戦略を学んだりすることが出来るのです。さまざまな楽しみ、親交、実り多い学びのある5日間となるでしょう。

日本ライオンズは最も思い出に残る大会にするために全力で準備を進めています。日本はライオニズムの精神がとても強い国です。日本のライオンズは世界中の災害にいち早く対応しその奉仕事業は驚くほど効果的で創造的です。日本のライオンたちの「おもてなし」と「おもいやり」の心により、皆さんにこれまでで最高の経験の一つを提供致しますことを請け合います。

山田 實紘

2015-16年度国際会長
山田實紘

※ライオン誌日本語版訳／「国際会長メッセージ」は全世界のライオンズへ向け同一内容で配信されており、原文は国際協会公式サイト（www.lionsclubs.org/EN/about-lions/our-leadership/meet-the-leaders/presidents-message.php）に掲載されています

Headline

今年度3回目となる日本ライオンズ・ガバナー協議会が、2015年12月8日、東京・八重洲のハロー貸会議室東京駅前ビルで開催された。冒頭、来賓としてあいさつに立った山田實紘国際会長は、11月末現在の世界の会員数が139万8854人と、140万人目前となったことに触れ、年度末会員数のピークは1996年6月末の142万5310人だが、この記録にもあと2万6千人余りで到達するとして、過去最高の会員数で100周年を迎えることも夢ではないと話された。また、会則地域別の会員数では東洋・東南アジア（OSEAL）地域がアメリカ及びその周辺地域まで1万4千人と迫り、最大の会則地域となる日も近いと述べ、日本ライオンズとしてアジア、そして世界を牽引してほしいと訴えた。その一方、前々日の6日に閉幕したOSEALフォーラムでは、開会式の半ばで多くの会員が退席する結果となり、数だけではなく質を良くする必要があると強調。そのために現在、OSEALスタンディング委員会を立ち上げ、改革に乗り出しているとして、幾つかの検討事項を報告された。続いて会議では、一般社団法人化、全日本のアクティビティ、日本ライオンズ事務所統合について協議と報告が行われた。その後、国際協会100周年記念実行委員会、LCIF、GMT、GLT、FWT及び福岡国際大会について、それぞれ国際委員から報告があった。このうち国際協会100周年に関しては、高田順一会則地域副委員長から報告があり、100周年記念奉仕チャレンジに対するMy LCI報告は11月末現在で世界全体が33％であるのに対し、日本は61％（1912クラブ）と順調に参加クラブが増えていること、また記念コインや記念切手の発行が計画されていることなどが紹介された。

SCENE

茨城県・協和ライオンズクラブ
取材／井原一樹　写真／関根則夫

デイサービスのおやつにメンバーが目の前で打ったそばを

茨城県筑西市にある恒幸園は入所、ショートステイ、デイサービス、と異なるニーズに応える特別養護老人ホームである。2015年11月25日、この恒幸園に協和ライオンズクラブ（横山浩也会長／35人）と協和ライオンズクラブこだま支部の面々がやってきた。実施するのはそば打ちのアクティビティだ。

クラブでは今年度、年間事業計画に新しい変化を与える事業の実施を考えていた。そこで、近年、重要性が増している高齢者福祉を取り上げることにした。クラブとして恒幸園の花見や敬老会に参加するなど、以前から交流があったため、施設のスタッフと新規事業について相談。デイサービスの方のおやつの時間にそば打ちをやるのが良いという話になった。そば打ちならば室内でも実施出来、用意するものも多くない。デイサービス利用者の中にはそば打ちの経験のある方が多くいるため、目の前でそばを打つことが良い刺激になり、喜んでもらえるという。

おやつの時間は限られているため、実演で全員分のそばを打つことは出来ない。そのため、あらかじめ、ある程度のそばを打っておいた。そば打ちにも時間がかかる作業がある。そこで、実演している間に、既に打っておいたそばをデイサービスの方に見てもらうなど、飽きないように工夫していた。

汁そばにはシイタケ、豆腐、ゴボウ、ニンジンなど具がたくさん入っている。ちょうど一気に冷え込んだ時期にも重なり、利用者にとって心も体も温まる午後になった。

LIONS
INTERNATIONAL
恒幸
協和ライ

SCENE

宮崎県・川南ライオンズクラブ

取材／井原一樹　写真／関根則夫

川南の名物、軽トラック市に出店。毎月の売り上げは寄付金へ

宮崎県川南町では毎月第4日曜日の朝に軽トラック市が開催される。毎回、1万人以上が訪れる川南町の名物朝市だ。

そこの一角で毎回、たこ焼きを販売しているのが川南ライオンズクラブ（安藤正則会長／32人）だ。売り上げは元々、県内の災害（口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳噴火）に備えての募金資金としていたが、2011年3月からは東日本大震災や各地で起こった洪水被害の支援金にした。最近は地元にも還元しようと、児童養護施設に遊具や本などを寄贈している。

クラブがこの事業を始めたのは10年11月のこと。大阪出身のメンバーが川南の名物となっていた軽トラ市に出店することを提案したのだ。そのメンバーが焼き方を伝授。他のメンバーも練習を重ね、外はカリっと、中はトロっとしたたこ焼きを作り上げた。

当初はなかなかお客さんが来てくれず苦労したが、最近は売り切れる月も珍しくない。また、「寄付するのであれば」と趣旨に賛同して買いにきてくれる人もいるという。毎月買いにきてくれるお客さんもおり、ライオンズクラブの活動として地元に根付いている。

実はこの軽トラ市、出店するための倍率も高い。毎月出店している店舗が優先されるため、クラブではひと月も休まずに出店し続けている。朝早くから準備をし、立ちっぱなしでたこ焼きを売り、後片付けをする。これらを毎月実施するのは大変だが、今後もクラブではこの事業を続けていくつもりだ。

CLUB REPORT クラブ・リポート

330-B地区

神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ

早稲田大学との協働で
未来の科学者を育むコンテスト

「私たちの身の回りには、医療、環境、また社会的インフラなどに多くの課題があります。その解決には科学の力が非常に重要な意味を持ちます。科学に向かう皆さんの取り組みは、今後の日本そして人類に貢献していくものと思います」

12月19日、小田原市民会館で開かれた小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学科学コンテストの開会式で、加藤憲一市長はこんな言葉をかけて研究発表に臨む生徒たちを励ました。

8回目を迎えた今回のコンテストでは中学校8作品、高校10作品が発表された。風力を用いて効率的な発電をする方法は？　雲の発生には冷却能力の違いがどのように影響するのか？　仮説を立て、実験や観察を繰り返し、考察をまとめた中高生たちの研究発表に、早稲田大学理工学術院長の大石進一教授ら審査員13人が耳を傾けた。

小田原白梅ライオンズクラブ（大南修平会長／58人）がこのコンテストを始めたのは2008年。当初クラブ単独の主催だった。そこに2年前、地域が地元の教育に積極的に関わるコンテストの趣旨に賛同した大石教授の協力で、早稲田大学が主催者に加わった。ライオンズは準備や受付、進行など運営を担い、早稲田大学からは審査委員長の大石教授を始め教授や助教ら9人が審査員を務める。またコンテストに先立ち、7月には希望者を募って大学の研究施設を見学するキャンパス・ツアーを実施。その後も研究や実験に関する質問や相談に応じ、必要があれば大学の実験装置を提供する態勢で研究をサポートする。

コンテストでは制限時間10分の研究発表に続き、審査員との質疑応答が行われる。そのやりとりは真剣そのもので、中高生の水準に合わせて手加減する様子は感じられない。研究者の視点から、あいまいな点や実験の精度について鋭い質問が飛び、次の研究の発展につながる助言も与えられた。発表から質疑応答まで緊張の連続だが、中高生たちにとっては普段の学習では得られない貴重な経験だ。

表彰式では中学、高校の部でそれぞれ市長賞1点と優秀賞2点を発表。その後の情報交換会で、生徒たちから審査員に質問を投げかける機会も設けられた。

大石教授は「このコンテストは地域と大学が連携する新しい試みだと理解しています。各地のライオンズクラブが予選を行い、最後には早稲田大学に集って決戦に臨む全国規模のコンテストになればいい」と、コンテストの発展に期待を寄せる。実現出来たらすばらしい。

（取材／河村智子）

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学科学コンテスト
主　催／小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学
後　援／神奈川県・神奈川県教育委員会・小田原市・小田原市教育委員会・小田原稲門会
1回目（m）
2回目（m）
3回目（m）
平均（m）
2号機
4.63
4.93
4.64
4.73
3号機
3.30
3.82
3.79
3.64
2号機
3号機

CLUB REPORT

334-D地区

富山高志ライオンズクラブ

収穫体験で、畑の恵みを肌で感じて

12月に入って最初の土曜日、朝から弱い雨が降ったりやんだりの天気だったが、富山高志ライオンズクラブ（菅谷静夫会長／22人）主催の収穫祭は予定通りに行われた。この日、同クラブのメンバーが管理するふれあい農園実習畑に集まったのは、児童養護施設富山市立愛育園の1年生から6年生までの7人と先生たち。合羽姿となった子どもたちは、ライオンズのおじさんから手ほどきを受けるとすぐに畑に入り、無農薬で栽培された大根の葉をつかみ次から次へと引き抜いていた。

この収穫祭は、2004年にクラブを結成して間もない頃、さまざまな事情で家族と共に生活出来ない愛育園の子どもたちと触れ合う中で、彼らに身近な自然に親しんでもらい、収穫のありがたさを感じてもらおうと、06年に企画。以来毎年実施しているアクティビティだ。

今回は大根の収穫だったが、夏にはジャガイモの収穫祭もある。年度が変わってすぐにメンバーらでジャガイモの種を植え、7月の終わり頃に愛育園の児童の他、地域の子どもたちも招いて、収穫祭と試食会を実施している。大根の場合はそれほど力を入れなくてもスッと抜けるが、ジャガイモはそうはいかない。土の中をほじくり回してジャガイモをかき集める、まさに土まみれの収穫イベントである。

愛育園に対しては収穫祭以外にもいくつかの事業を行っている。里親事業は、夏休みの期間中に市街地からほど近い呉羽丘陵の一角にある青少年自然の家に一泊する里親体験学習。ライオンズのメンバーもここで子どもたちと一緒になって遊んでい

る。また、子どもたちに理科に関心を持ってもらおうと、やはり夏休み期間中に小学4年生から中学3年生までを対象とした科学実験教室を開催している。

この日は雨の中での作業であったが、要領をつかんだ子どもたちのがんばりもあって、大根の収穫はあっという間に終了した。収穫した大根はお土産に園に持ち帰って食料の一助にしてもらう。何にして食べるかはまだ決まっていないそうで、これから皆の希望を募るという。

収穫の後は場所を変え、前の日に畑で収穫しておいた大根や里芋、ニンジンで作った豚汁を、ライオンズのおじさんたちと一緒に頂いた。畑で暖を取るために用意していたたき火では焼き芋も作っており、この焼き芋を先に食べてお腹いっぱいになったせいか、豚汁があまり進まない子もいたが、おおむね好評だった。特に今年は、昨年以上にメンバーが畑の草取りに精を出したこともあって、子どもたちより豚汁をおいしく感じたのではないだろうか。

（取材／砂山幹博　撮影／宮坂恵津子）

334-D地区

福井県・鯖江王山ライオンズクラブ

防災訓練で炊き出しの予行演習 鯖江市とも協力協定を締結

鯖江王山ライオンズクラブ（三谷一晃会長／109人）は鯖江市との災害時における協力協定を締結し、2015年9月27日、鯖江市総合防災訓練の際に、調印式を行った。当クラブは今年度、地元に根ざした真心の奉仕をスローガンに掲げている。単一クラブと行政が災害時における協定を結ぶのは前例が無いと聞くが、異常気象による災害などから地域の人の命と尊厳を守るために重要ではないかと考えて締結した。

この日の防災訓練では二つの小学校を会場に、児童と地区の人たち約2千人が避難訓練や消火訓練、土嚢（どのう）作り、地震体験などに参加して防災意識を高めた。当クラブは緊急時の炊き出し訓練として豚汁を作ることにし、前日からテントで準備を進めた。本来なら緊急時と同じく、その日、その場で準備するべきだが、慌てずに作業手順を覚え、食中毒を防ぐため、前日からの準備とした。

当日は、クラブとレオクラブの面々で各会場に分かれて豚汁を作り参加者に配布した。

一緒に参加した鯖江王山レオクラブのメンバーは夏休みに身近なものを利用した防災グッズを考案し、作成した。これらの防災グッズは当クラブが贈呈した緊急時の支援物資であるプライバシーボックスと一緒に会場で展示した。

ライオンズ・メンバー、レオクラブ・メンバー共に、この防災訓練に参加して、改めて防災に対する意識が変わったと自信に満ちた顔をしていたのが印象的だった。（ALERT委員長／扇田あさり）

334-A地区

愛知エメラルド ライオンズクラブ

ライオンズ・デーにちなんで パン移動販売車の寄贈式典

2015年10月3日、愛知エメラルドライオンズクラブ（鳥井和子会長／60人）は知立市の社会福祉法人けやきの会が運営する「メープルけやき」にパン移動販売車を寄贈した。

今年度のクラブ・スローガンは「心と奉仕で社会のために」である。そこで会長方針で、価値ある奉仕活動の一環として障がい者自立支援事業を実施することにした。会員で協議した結果、当クラブ拠点の知立市にある社会福祉法人けやきの会に白羽の矢が立ったのだ。パン移動販売車を活用して頂けば、スタッフの皆様が積極的に外に出向くことになる。そうなると、地域の方と交流を深めながら楽しく仕事が出来ると考えた。

寄贈式典には林郁夫知立市長、鈴木峰保けやきの会理事長、加藤史典334・A地区ガバナー他、大勢のご来賓の方々に出席頂いた。式典終了後は、地域の皆様にメープルけやき様の手作りパン600個を無料配布し、当クラブ自家製赤味噌で作った豚汁の無料提供をした。また障がい者自立支援を目的としたチャリティー募金を実施し、募金して頂いた方には多数の景品を準備したゲーム（輪投げ・お菓子つり・風船つり）やバルーンアート作り体験に参加して頂いた。来場者は500人ほど。地域に奉仕出来たことを会員一同大変うれしく思い、感謝している。

当日は取材も多数来て頂き、東海テレビのニュース「One」で放映され、また『中日新聞』西三河版や地元の折り込み新聞『知立くらしのニュース』にも取材記事を掲載して頂いた。

（PR委員長／渡邉英美）

333-C地区

千葉県・上総ライオンズクラブ

35年間71回継続
手づくりの少年野球大会

２０１５年11月7日、上総ライオンズクラブ（上荒磯宏光会長／65人）が主催し、千葉日報社が後援する第71回少年野球大会が開催された。会場は君津市久留里スポーツ広場。小櫃少年野球クラブが優勝して幕を閉じた。当クラブは閉会式では優勝旗の授与。また、トロフィー、メダル（金・銀・銅）もクラブで購入し、贈呈している。

ライオンズクラブ主催の文化、スポーツ大会となっていても、運営はほとんどよそにお任せする、いわゆる「冠」大会も多い。だが、この大会は、運営のほとんどをクラブ会員で行っており、文字通り「手づくりの野球大会」となっている。

当クラブのアクティビティの柱は青少年健全育成である。この野球大会は青少年健全育成事業の中心であり、１９８０年にスタートした。今年まで35年間継続している。数年前まで君津市上総、小櫃、木更津市富来田地区内の６チームが参加し、２日間実施してきた。しかし、最近は少子化現象によりチーム編成が困難になってきており、数年前から参加チームも半分の３チームに減っている。

各試合が開始される前には、クラブ会員がグラウンドに出て、トンボなどを使用して平らになるよう整備する。また、各種の連絡放送、試合のスコア付け、開催時の横断幕や国旗、それに大会のライオン旗の取り付けもメンバーの仕事だ。試合の合間には「ライオンズ・ヒム」、「ライオンズクラブの歌」のメロディーを流し、参加チーム関係者にライオンズクラブをＰＲしている。

（斎藤敏夫）

337-A地区

福岡早良ライオンズクラブ

未来都市福岡アイランドシティにあるライオンズの森清掃

博多湾東部、香椎浜の干拓地に未来都市を目指した巨大な人工島、福岡アイランドシティが出現した。高層住宅のみならず、こども病院を始め、医療施設、災害対応施設、港湾機能などの整備が着々と進み、既に入居者も６５００人を超えている。

この中心部には広大な中央自然公園があり、その一角に約１千平方メートルのライオンズの森がある。これは337・A地区第２リジョンと第４リジョンの共同事業として２０００年に発案され、01年６月にオープンしたもの。ここには全参加クラブ名が刻まれた記念碑と、その後に訪問された国際会長の記念植樹の木碑が立てられている。しかしその後、訪れる会員も少なく、風雨にさらされた石碑、木碑はひどく汚れていた。

福岡早良ライオンズクラブ（齋藤眞人会長／42人）には、80歳を過ぎライオン歴30年以上の会員5人で構成する顧問会がある。内4人が当時の事情を知っていたため、クラブの例会で承諾を得て、顧問会メンバー5人が15年10月8日にライオンズの森清掃奉仕を実施することになった。

当日は顧問会のメンバー５人に加え、２人の会員が参加。老骨に鞭打って清掃に励み、すがすがしい安堵感を得た。今後、当クラブではライオンズの森の存在を多くの市民の皆さんに知らせていきたいと考えている。

今期、山田實紘国際会長が誕生し、第99回国際大会が福岡市で開催される。これを絶好の機会と捉え、国際理事全員がライオンズの森にお越し頂けるようなイベントを実現したいと思っている。（会則・付則委員会／増尾英雄）

335-C地区

奈良県・大和高田ライオンズクラブ

若人よ、心を磨け！ 薬師寺管主、熱く語る

大和高田ライオンズクラブ（辻本純久会長／48人）は、2015年11月4日、青少年育成委員会の事業として、大和高田市立高田商業高等学校に薬師寺管主である山田法胤（ほういん）師を招いた。山田法胤師の講話のテーマは「戦後70年これからの生き方」。

師は生徒、職員を前に「さまざまな認識を身に付けることが人生の宝となる」と語った。これは、多様な価値観、認識を知ることで、さまざまな心の物差しで物事を見ることが出来るということ。そのためには心を磨き、多くの認識を受け入れる努力をする必要がある。また、働くことには自己以外の人々の幸せにつながる意義があるとのお釈迦様の教えを、ご自身の生い立ちを交えながら分かりやすく話して頂いた。なおかつ、将来の日本を良い方向へ変える志を持った若者になってほしいという、本クラブ会員の願いも合わせて伝えて頂いた。90分の熱弁を聞いた生徒からは「これから社会に出る私たちにとって、とても貴重な経験でした」「今後多くの人と出会う中、辛くても我慢をして、どんな人にも喜びを与えられる人間になりたいです」「認識をたくさん蓄え、物差しを多く持つ人間になりたいと思いました」「同じ行動や言葉でもとらえ方で大きく変わるということに気付かせて頂き、人間としても大きくなれたと思います」と感想が寄せられた。

本クラブは結成以来、主として青少年育成事業を中心に展開してきた。これからも未来を担う青少年の育成に努力を重ねていきたいと考えている。（青少年育成委員長／森川英司）

332-C地区

宮城県・女川ライオンズクラブ

おながわ秋刀魚収穫祭で献血活動の実施

2015年9月20日、女川町で行われたおながわ秋刀魚収穫祭2015の会場で女川ライオンズクラブ（12人）は献血活動を実施した。この収穫祭は女川魚市場敷地内で18年前から行われている大規模イベントだ。町の中心部は震災で壊滅的な被害を受けた。しかし、この収穫祭はまだ被害の爪痕が残る11年秋に再開された。その年から、町内の女川町民第二多目的運動場で開催されていたが、昨年は復興工事が進む町内で、そして今年はついに、再建された魚市場で開催されることになった。来場者数も徐々に回復してきている。

この収穫祭での献血活動では、女川魚市場受人協同組合様の協力で、献血者に秋刀魚1箱10尾入りをプレゼントしており、震災前は500人以上の献血希望者がいた。この数は、宮城県内はおろか、全国でも1地点での1日の献血者数で日本一ではないかと赤十字の方が話していた。

献血活動は一昨年から再開。一昨年は約180人、昨年は約250人、今年は約350人の献血希望者があり、徐々に増加している。当日は献血車3台、眼科ビジョンバン1台を導入。石川達雄地区ガバナー、佐々木喜蔵ゾーン・チェアパーソン、石巻日和ライオンズクラブの松田弘美会長が活動を盛り上げてくれた。来年は更に献血希望者の増加が見込まれることから、献血車の台数も増やす予定である。

献血は健康な人なら誰でも出来る社会貢献活動だ。皆様もぜひ来年のおながわ秋刀魚収穫祭に参加して頂き、献血にご協力頂ければ幸いである。

（会長／加藤忠雄）

333-D地区

群馬県・高崎ライオンズクラブ

満場の客席に笑顔があふれる チャリティー寄席を主催

2015年10月23日、高崎ライオンズクラブ（180人）は高崎市文化会館でチャリティー寄席を主催した。

例年、当クラブのチャリティー事業はゴルフ大会が多かった。だが、今期は老若男女の幅広い市民の皆様に参加して頂けるものをと検討を重ね、寄席を実施することにした。最終的にテレビ番組「笑点」でおなじみの林家たい平師匠に出演して頂けることになった。1年前から準備をし、5月には次期事業として正式に承認されたため、実行委員会を構成。委員長を清水英徳元国際理事にお願いした。また、この事業は公益財団法人群馬県アイバンク、高崎市社会福祉協議会、高崎市教育委員会、上毛新聞社の4団体からそれぞれ後援して頂くことになった。

当クラブの今期のスローガンは「全員参加で奉仕の輪」である。チケットの販売目標は満席の750枚とし、お客さんに満足頂けるよう、当クラブの総力を挙げて推進してきた。これだけ大きな事業故に、メンバーには厳しいお願いをしたかと思う。だが、そこはさすが高崎ライオンズクラブの底力と言うべきか、当日は笑顔の観客で満席になった。このチャリティー寄席を後援してくださった4団体にも、このチャリティーで得た浄財を参加した市民の前でそれぞれ贈呈させて頂き、共に奉仕の喜びを分かち合えたことはライオニズムの観点からも最高の喜びだ。

終わりに、参加して頂いた市民の皆様、林家たい平師匠ご一行、関係各位、そしてライオンズクラブの皆様に感謝を申し上げる。

（会長／赤羽貞利）

330-A地区

東京六本木ライオンズクラブ

トゥレヴァン・コンチェルトで 募金活動と「チャレンジ」

2015年10月17日、芝公園のメルパルクホールで社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団主催のトゥレヴァン・コンチェルトが開催された。このトゥレヴァン・コンチェルトは今年で7回目の開催。障がいを克服しながら音楽家を目指す方々に演奏する場を提供し、その演奏を通して「チャレンジする」すばらしさを知ってもらうことを目的としているコンサートだ。

東京六本木ライオンズクラブ（16人）と東京原宿ライオンズクラブ（藤村拓也会長／17人）も共催という形で、このコンサートを支援している。

今年のスペシャルゲストは、脳出血により右半身不随となるも「左手のピアニスト」として復帰した舘野泉さん。左手だけで奏でられたカッチーニ作曲「アヴェ・マリア」の優しい旋律に、感動で涙する人、すすり泣く人が少なくなかった。とても心に響いたコンサートだった。

会場で東京六本木ライオンズクラブは今後の支援継続を目的に募金活動を行った。また、募金を集めるために用意した限定100本の「バルーンフラワー」のバラはすぐに完売。多くの方がこの支援活動に共鳴してくださり、無償の寄付もたくさん頂いた。これは私たちの活動がより多くの方に受け入れてもらえたことの証であると思う。今後、この活動を続けて行く上での大きな励みとなった。

当クラブでは今後も「どうしたらライオンズクラブの存在・活動をより多くの人に知ってもらえるか?」という課題に「チャレンジ」し続けていく。

（会長／渡辺照子）

337-A地区

福岡大名ライオンズクラブ

東ティモール教育施設支援アクティビティ

2016年2月、福岡大名ライオンズクラブ（郷原茂巳会長／104人）は結成30周年の節目を迎え、その記念事業として、東ティモール民主共和国の幼稚園の修復を行った。東ティモールは世界一新しい独立国であり、内戦によってインフラと人的資源に大きな痛手を受け、教育の充実が最重要課題となっている。

2014年11月、第30期三役予定者が在日大使館を訪問し、イジリオ・コエーリョ全権駐日大使（当時）と会談。その中で、首都ディリから遠く離れ、海外からの支援もないビケケ県ベアス村にある幼稚園の修復を依頼された。

2015年5月、現状把握のため、会員2人が東ティモールを訪問し、首都で教育省副大臣と面会、具体的な修復内容の設計と資金管理を依頼した。翌日、車で6時間かけ視察した幼稚園は、屋根が破れ、窓ガラスや床もなく、園児たちは一つだけかろうじて屋根が残っている教室を使っていた。それでも子どもたちの表情は明るく、平和で明るい未来を感じさせた。

この視察後、教育省の主導により修復事業は急ピッチで進んだ。予算は約3万ドル。LCIF一般援助交付金を申請すると共に、姉妹クラブである京都嵯峨野ライオンズクラブ（渡邉哲也会長）にも協力を求め、快諾を得た。そして8月に着工し、10月中旬に完成した。

10月19日、郷原会長ら会員5人と京都嵯峨野ライオンズクラブの渡邉会長ら2人が、現地の完成記念式典に出席した。修復により見違えるようになった園舎で、一行は歌や踊りなどの大歓迎を受けた。盛大な式典には、教育省や外務省、日本大使館から局長級の出席を頂いた。子どもたちは、奇麗になった幼稚園とお土産のサッカーボールに大喜びであった。

この事業は『西日本新聞』に2度記事が掲載され、多くの市民の目に触れた。また、11月5日には、迅速な支援のお礼として、コエーリョ大使が福岡までお越しくださり、当クラブの例会に出席された。

東ティモールは、会員にとってなじみのない国であったが、10月の中洲まつりワゴンセールで東ティモール産コーヒーを販売したり、現地訪問した会員の報告、大使の例会訪問などで、身近かつ今後も応援したい国となった。来期は京都嵯峨野ライオンズクラブが30周年を迎えるため、早くも次の支援についての協議が始まっている。（塗木麻美）

LCIF FILE

LCIF Development Update

ＬＣＩＦ創設50周年記念目標 後期初年度③

今期の目標達成を目指す新提案「バースデーＭＪＦのキャンペーン」を提示致しておりますが、その一例をご紹介しましょう。

このクラブは10月24日、結成55周年記念式典において、55周年にちなみＭＪＦ55口を記念事業として発表しました。その実態は、この献金に参加する会員のうち半数が、「今期中に支払う」ことの「誓約」をし、キャンペーンに参加することになったのであります。

さてここで、前月号同様、後期1年目5カ月経過の実績を検証してみましょう。前回も触れましたが、確実にご理解され浸透した地区と、これから成果が期待される地区とに分かれる結果となりました。

すなわち、時系列的には42％経過したことになりますが、例外はあるものの、例年期末の3カ月間は極端に献金減少が見られます。従ってこの時点では、達成率50％以上が順調な歩みと思われます。これに達しているのは全35地区中19地区となります。内訳は、336・B地区の達成率89・6％を筆頭に、70％台＝4地区、60％台＝6地区、50％台＝8地区です。そして40％台＝11地区、30％台＝3地区、20％台＝2地区と続きます。

複合地区別では、330複合地区（達成率61・6％）、336複合地区（61・5％）、335複合地区（60・4％）の三つの複合地区が60％台を達成しました。また332複合地区（56・7％）、334複合地区（53・2％）、333複合地区（52・4％）の3複合地区が50％台、これに331複合地区（40・4％）、337複合地区（39・8％）が懸命に続いております。

この結果を精査してみますと、達成率トップの336・B地区のＭＪＦ42口は目標60口の70％に達しており、達成率60％台の4地区もそれぞれ76・0％、80・7％、80・9％・78・6％と、高達成地区はいずれもＭＪＦが当然のことながら大きく貢献していることが分かります。同様に良好な達成率の地区ほど、「クラブ会員100％」のキャンペーンが浸透し、高い伸長率に結びついていると言えます。

一方、一人当たり献金額をみますと、トップの334・A地区の1万5221ドルから20ドル未満の地区と大きな隔たりが浮かんで参りました。本年度の数字が次年度、最終年度に総額として影響します。どうかご理解頂き、ご支援ご協力を切にお願い致します。（ＬＣＩＦ国際委員、エリア・コーディネーター／桜井孝一、澁田繁晴）

■LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と目標達成への必要額（ドル）2015年11月30日現在

地区	初年度目標額	献金実績	MJF	達成率	目標達成必要額
330-A	296,162	142,278	66	48.0%	153,884
330-B	550,133	392,174	280	71.3%	157,959
330-C	109,191	56,137	29	51.4%	53,054
331-A	301,245	123,630	102	41.0%	177,615
331-B	143,217	40,595	27	28.3%	102,622
331-C	61,401	42,576	27	69.3%	18,825
332-A	94,992	57,990	33	61.0%	37,002
332-B	98,629	52,780	26	53.5%	45,849
332-C	125,341	55,785	48	44.5%	69,556
332-D	189,278	134,320	125	71.0%	54,958
332-E	62,551	32,499	27	52.0%	30,052
332-F	41,050	19,630	18	47.8%	21,420
333-A	155,669	67,520	44	43.4%	88,149
333-B	114,588	58,736	51	51.3%	55,852
333-C	201,343	143,787	121	71.4%	57,556
333-D	150,671	99,339	80	65.9%	51,332
333-E	296,510	131,090	113	44.2%	165,420
334-A	1,281,309	698,190	673	54.5%	583,119
334-B	311,692	129,150	113	41.4%	182,542
334-C	268,425	129,434	101	48.2%	138,991
334-D	286,345	221,277	184	77.3%	65,068
334-E	245,159	95,000	93	38.8%	150,159
335-A	111,712	61,470	54	55.0%	50,242
335-B	571,240	383,463	307	67.1%	187,777
335-C	319,259	178,674	129	56.0%	140,585
335-D	129,468	62,132	57	48.0%	67,336
336-A	275,358	168,428	118	61.2%	106,930
336-B	115,970	103,882	42	89.6%	12,088
336-C	251,183	156,200	114	62.2%	94,983
336-D	147,352	81,180	47	55.1%	66,172
337-A	388,105	166,363	186	42.9%	221,742
337-B	176,808	68,755	55	38.9%	108,053
337-C	196,355	95,892	74	48.8%	100,463
337-D	126,273	34,920	29	27.7%	91,353
337-E	83,174	29,940	22	36.0%	53,234
全国	8,400,000	4,515,216	3,615	53.8%	3,884,784

アメリカ・イリノイ州で
糖尿病リスクと向き合うライオンズ

アメリカ・イリノイ州シカゴを奉仕地域とする1・J地区のライオンズは、地域住民に対する新しい奉仕活動を検討していた。Lジュリ・ディパスクエールは、息子が13歳の時に若年性糖尿病であると診断された経験から、糖尿病患者を地域が支える環境を整えたいと考えた。

「親として、子どもの安全を確保することは当然のことです。道に飛び出しちゃだめよ、ストーブを触ってはだめよと絶えず注意しますよね。でも糖尿病と診断された時から、その意味合いは大きく変わります。もし、インスリン注射を投与し忘れたら、それは直ちに子どもの生命に関わってくるのです。糖尿病について正しく理解することがとても重要なのです」

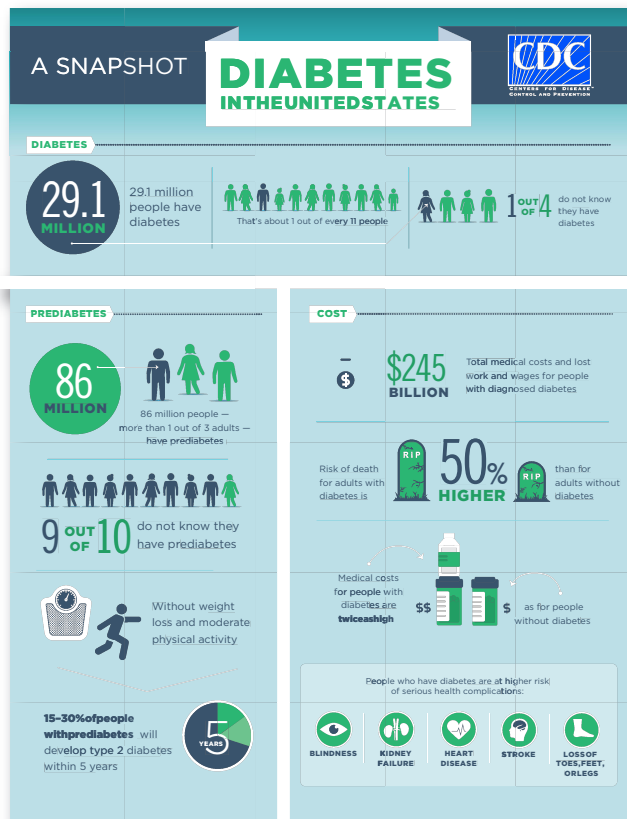
Lディパスクエールの提案により、1・J地区のライオンズは、糖尿病を予防するための支援事業を決定。地域の医療施設エルムハースト・メモリアル・ヘルスケア（EMH）と協力して、奉仕活動を開始した。

この活動に対して、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）は四大交付金の糖尿病プログラムから9万5275ドルを拠出。今後糖尿病にかかるリスクがあるとされる低所得者層を対象に、糖尿病予防に関する教育や生活改善プログラムを実施することなどに活用した。

「EMHの指導・協力なしに、この活動をやり遂げることは出来ませんでした。また、LCIFのおかげで、支援を必要とする家族に十分なサービスを提供することが出来ました」

Lディパスクエールはこのように話している。

糖尿病患者は世界各国で増加傾向にある。アメリカの成人人口のうち糖尿病患者は2900万人、そのうち700万人は自身が糖尿病であることを自覚していないという。アメリカ疾病対策予防センター（CDC）によると、今後5年間に新たに糖尿病予備軍と呼ばれる糖尿病前症になる人は8600万人、これは成

糖尿病学習について予防プログラム指導者や認定糖尿病療法指導士と話し合うLジム・ウォーデン

←アメリカ疫病対策予防センター（CDC）が2014年6月10日に公表した全米の糖尿病有病者数及び糖尿病前症者数の推計値。診断例、未診断例を含めた糖尿病有病者数（小児を含む）は2010年の2600万人から2012年には2900万人超に増加し、全人口の9.3％を占めると推計。また、糖尿病前症者数は8600万人に上り、成人の3人に1人以上を占めることも明らかになり、体重減少及び適度な運動無しで、糖尿病前症者の15〜30％は5年以内に2型糖尿病を発症するとしている。

人人口の33％以上に当たり、このまま増加傾向が続いた場合、2050年には人口の3分の1が糖尿病と診断されると予測されている。

1・J地区はこの活動を通じ、糖尿病にかかるリスクがある人々を特定し、所得が低いことで適切なサービスが受けられないでいる人々をサポートした。検査によって糖尿病前症と診断された住民は、糖尿病療養指導士が行う無料カウンセリングを受けることが出来る。また、希望者は生活改善プログラムへの参加が可能で、CDCが推奨する2型糖尿病の予防や進行の遅延を実践することが出来る。

この活動の最終目的は糖尿病の有病率を減少させることだ。包括的な地域支援プログラムを推進することで、住民の糖尿病リスクの発見と予防対策を着実に実践出来るのだ。

地元ライオンズにとって、このプログラムの成功は不可欠だ。1・J地区には64のクラブに約2300人のライオンズが所属する。地域の情報発信者として糖尿病予防を提唱するライオンズは、糖尿病に関する勉強会を開いたり、体重やBMI（体格指数）などの身体測定を行ったり、活動資金を得るための寄付活動を行ったりしている。

ライオンズとLCIFのおかげで、プログラムに参加した人のうち65％がその後の体重減少や維持、血糖値の安定などの効果が見られた。1・J地区のライオンズはこのプログラムに献身的に参加し、地域社会の福祉向上に貢献し、予防を心掛けることが何よりも重要であることを証明した。

四大交付金の糖尿病プログラムを申請する方法については、LCIF公式ウェブサイトを参照されたい。

（カサンドラ・ロトロ）

華やかに彩られた街で

2015年12月3日〜6日の4日間、微笑みの国・タイの、天使の住む街と呼ばれる首都バンコクで、第54回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムが開催された。フォーラム・テーマは「Excellence Through Service」。長きにわたり思いやりあふれる人道的奉仕を行ってきたOSEALのライオンズの「知性・愛・団結」を、奉仕を通じて更に秀逸なものに昇華させていこうという思いが込められている。これを体現するように、グリーン・チームと称される、そろいのグリーンのジャケットを着たフォーラム組織委員会のメンバーが、隅々まで目を配り心を砕いてこの大きなイベントを支えた。

本部ホテルであり、開会式以外全ての行事の会場となったのは、デパートやホテルが立ち並び、バンコクの中でも最もにぎやかな場所にあるセンタラ・グランド・アット・セントラル・ワールド・ホテル。大型ショッピングモールのセントラル・ワールドに直結し、買い物や食事にもとても便利だ。日中は30度

開会式でスピーチを行う山田實紘国際会長

世界をリードするOSEAL となる覚悟を

特集：バンコク・フォーラム

第54回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムがタイの首都バンコクで開催された。ライオンズクラブ国際協会100周年に向けた意気込みが示される会となった。

を超える暑さではあるがクリスマス・シーズン。街は華やかなデコレーションで彩られ、若者やカップル、家族連れが楽しそうに写真を撮っていた。街のあちらこちらにある大小さまざまな霊堂には多くの人々が参拝し、南国らしい鮮やかな花が供えられている。更に、フォーラム会期中の12月5日はタイ国王ラーマ9世の88歳の誕生日とあって、祝賀ムードにあふれていた。

国王88歳、タイでのフォーラムは今回で8回目。そして参加者数の合計は8088人（日本からは2023人）と、末広がりが重なり、これからのOSEALの更なる成長と幸運が暗示されているようだ。

来たる100周年とその先の100年を見据えて

バンコク・フォーラムは会議での発言もセミナーも、ライオンズクラブの創設100周年を強く意識したものとなった。古く不要となった遺産を払拭し、次の100年間で最高の選択をするためには、この1年間

がとても重要であると繰り返された。

まずはライオンズの原点である奉仕の強化。100周年セミナーでは、四つの奉仕分野で計1億人に奉仕することを目的とした100周年記念奉仕チャレンジにおいて、11月末の時点で奉仕を受けた人の数が既に6300万人に上っていることが示された。その上でより一層地域に根差し周囲を巻き込んだアクティビティを実施してほしいと伝えられた。

また、国際会長テーマのセミナーでは、山田会長が従来の会長テーマに加え、社会の変化、必要に応じた奉仕を提供出来る組織であるためには、ライオンズの能力を高めていかなくてはならないと語った。今、国際社会が抱える難民問題にも言及。数十万人もの難民が紛争や貧困から逃れて命を掛けて海を渡り、冬の寒さに震えている。今年度会長テーマは「命の尊厳と和」であり、協会もLCIFと協力して難民危機への対応に取り組んでいるが、個々のメンバーもそれぞれの地域で何が出来るか考えてほしいと課題を提示した。

山田会長は随所で、ライオンズクラブという組織の基礎となるのは一人ひとりのメンバーであり、各クラブだ。クラブが地域をもっとよく変えることが出来れば地区が変わり、ひいては世界を変えることにつながるのだと強調している。そしてすばらしい奉仕をすることこそが、会員の質の向上にも増加にもつながるのだと。

新しい100年を迎えるに当たり、もう一つキーワードとなったのは「多様性」である。ライオンズクラブは世界210カ国にクラブを有し、OSEALには17カ国が所属するが、交流が無ければばこの多様性が生かさ

コーカス・ミーティング

第1回協議会議長と地区ガバナーの会議

国際会長と地区ガバナーの会議

日本語セミナーの他、英語、韓国語、中国語、タイ語のセミナーが行われた

れない。フォーラムでも積極的に交流し、合同アクティビティにつなげ、他国への理解を深めていくことが望ましいとされた。

多様性には地理や人種だけでなく性別、年齢も含まれる。今フォーラムでOSEALからの2016～18年度国際理事候補として推薦が決議された中村泰久（埼玉県・大宮北ライオンズ）は現在52歳。山田会長が地区ガバナーとなったのが53歳だったそうだ。日本から輩出された中で最も若い国際理事候補への期待は大きい。

毎朝行われる複合地区議長と地区ガバナー会議の中では、奥山壽雄331-B地区ガバナーが「メンバーの多くはITに強くないが、連絡、情報交換を強化するには必須のアイテムだ。リーダーにはITを活用出来る人を選ばれたい」と発言すると、山田会長は「ITの活用を促進するには若い会員を増やすことが早道だ」と応えている。

レオ・セミナーではさまざまな国からレオが出席し満席となる盛況ぶりだったが、英語を駆使して自然体で意見交換し交流する様子は、ライオンズをしのぐとも言える。いずれ彼らにライオンズに移行してもらうためにも、レオたちが話をしやすい若いライオンがつなぎ役として活躍するだろう。

また国際第2副会長候補としての推薦が決議されたグッドラン・イングバドター元国際理事（アイスランド）は、初の女性国際会長候補である。高齢者や子どもへの奉仕を行う際に女性の存在、意識はより重要性を増す。女性リーダーや女性会員を増やす起爆剤となることも期待される。

福岡国際大会をPRする不老安正ホスト委員長

12月5日はタイ国王ラーマ9世の88回目の誕生日だった

国際会長テーマのシンボル、折り鶴を折るタイのメンバーたち

OSEALの成長とリーダーとしての自覚

会期中盤で、山田国際会長から重大な発表があった。国際本部による11月末会員数及びクラブ数の集計結果を受けてのことだ。世界の会員数は139万9千人となり、今世紀に入ってから超えることが出来ずにいた140万人まであと千人に迫っているという。更に、ライオンズクラブ100年の歴史の中でピークだった143万人を、大きな節目を迎えるこの時期に超えることが出来るかもしれない、いや、超えようというのだ。

閉会式では次回の開催地である香港のライオンズにバナーの引き継ぎが行われた

現在、こうした世界の会員増強を牽引しているのはまさにOSEALである。会則地域別に見ると、最多会員数を有するアメリカ合衆国及びその領域・バミューダ及びバハマ諸島が33万人。OSEALは第2位で1万数千人差に迫っている。LCIFでの貢献は既に世界が認めるところだが、今の勢いを見れば、OSEALが会員数でも世界一の会則地域になる日は遠くないかもしれない。

そこで、数だけではなく世界のリーダーとしての自覚を持たねばならないと、山田会長は説く。例えば、これまでのOSEALフォーラムでも度々取り上げられてきた課題ではあるが、一つに会議の中身の充実がある。形式的なものではなく、課題や良い取り組みについて話し合い共有出来る場とすることだ。

もう一つは参加意識。今回の開会式でも途中退席が目立ち、終盤には座席がガラガラになってしまった。式の終了が予定時間をオーバーしたことを差し引いても、改善が求められる。そもそも、参加者が途中退席してしまうような式典の在り方から見直す必要がありそうだ。今年度、ライオン誌委員会は各会則地域フォーラムの取材を行っている。既にANZI・パシフィック・フォーラム（11月号）、USA／カナダ・フォーラム（12月号）、EUフォーラム（1月号）を本誌でご紹介しているが、USA／カナダ・フォーラムを取材した中嶋辛委員（331複合地区）は、バンコク・フォーラムにも参加し次のように感想を述べている。

「やはりOSEALはお祭り的な要素が強い。楽しいし、ホスピタリティーが行き届いているが、多数のセミナーが設けられ、学びの意識が高い他地域のフォーラムから取り入れるべきこともあると思う」

中村泰久国際理事候補
台湾のマグネット・リン国際理事候補

今フォーラムで、国際第3副会長候補としてチョン・ユルチョイ元国際理事（韓国）が推薦を得た。山田会長の4年後には、再びOSEALからの国際会長が誕生しそうだ。今年の国際大会は福岡で、山田会長の主宰で開催される。ライオンズが大きな節目を迎えるこの時期に、台頭目覚ましいOSEAL地域。それ故、世界のリーダーとしての責任を背負う覚悟が求められている。

＊31ページに関連記事があります

（取材／柳瀬祐子・井原一樹）

ライオニズムの彼岸を示した日本語セミナー

躍進するOSEALの中で、日本は更にこれをリードする役割にあるとして、これまでの努力を評価する一方、更に高い目標を示すセミナーとなった。

山田實紘会長は、日本のこの2年間の家族会員の増加はOSEAL躍進の火付け役となっているとした上で、同時に会員の質も向上させるべき、と述べた。また、国際役員選出時におけるローテーションは若い人や女性がリーダーになりにくい一因になっているとして、改善を求めた。

高田順一100周年記念実行委員会OSEAL地域副委員長は、1億人への奉仕を掲げた100周年記念奉仕チャレンジは、既に6千万人に達したが、未報告のためカウントされないアクティビティも多いとし、MyLCIでの報告徹底を求めた。また新たな100周年記念企画として、クラブ活動の足跡を後世に残す「レガシー・プロジェクト」や、ボブ・コーリュー第1副会長の発案によるバナーへのサインをもって100周年のシカゴ国際大会へ全メンバーが参加する企画、記念コインの発行なども予定されていると発表した。

会員増強についてはまず河合悦子FWT会則地域副リーダーが、日本には女性リーダーが少ない、女性会員の増強が奉仕の幅を広げると話した。増強に成功している地区からヒントを得、そうでない地区に合う方法を探そう。FWTで4万人増強の目標に向け一歩踏み出そうと呼び掛けた。

次に丸山正芳GMTエリア・リーダー（西日本）が、社会に奉仕出来る喜びと感謝の気持ち、その表れとして日本の会員数20万人の約束を達成しようと述べ、「私たちは猫クラブじゃない。ライオンズクラブだ！」と吼えた。

100周年後の将来の姿を考える Shaping Our Future セミナー

セミナーは西川義規国際理事のスピーチでスタートした。創設100周年という節目を迎え、国際理事会は次の100年に正しい方向へかじ取りをするための新たな戦略を練っている。2016～20年度を対象とした戦略計画「LCIフォーワード」では、奉仕の受益者を3倍以上の2億人に増やすという目標を設定した。この計画を今年度中に完成させ、各クラブ・レベルまで周知させていく予定である。

そこで本セミナーでは、計画に反映させるための意見が求められた。マイクも必要ない程の小さな部屋に、数十脚の椅子を並べた会場で開かれ、聴講タイプではなく対話形式。互いの距離の近さもあってか、活発な発言が飛び交った。本部スタッフの質問に対する参加者の回答の一部を紹介する。

Q　類似の奉仕団体であるロータリーやキワニスとライオンズの違い

A　奉仕におけるメンバー同士の、またライオンズと地域社会や自治体などとのチームワーク

Q　女性や若い会員を増強する方法

A　女性のみのコンテストやリーダーシップ・トレーニングなど、女性対象のプログラムの実施

Q　将来焦点を当てるべき事業

A　環境。糖尿病教育。人道的奉仕。健康など万人に共通するもの。シエルター、食料支援や貧しい人を対象としたもの

Q　ライオンズ内部に向けて必要なサービス

A　新会員がライオンズを理解しないうちに退会してしまうのが問題。台湾では5年ほど前から、ライオンズの歴史や組織などを1年掛けて学習する台湾ライオンズ・ユニバーシティーを実施している

第28回国際平和ポスター・コンテスト

テーマ「平和を分かち合おう」・複合地区レベル最優秀作品

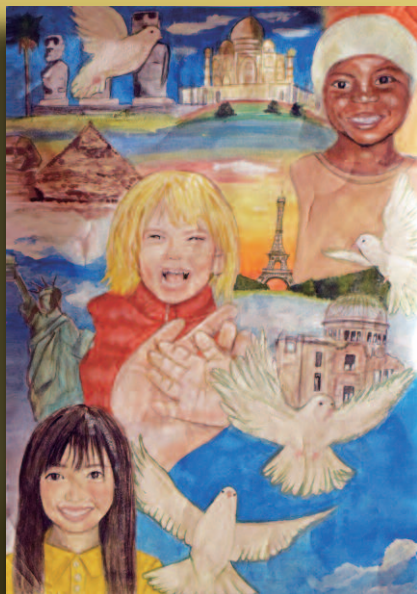
330複合地区：長野茜（12歳）
スポンサー・クラブ：埼玉県・越谷平成
「ハトは平和のシンボルなので地球全体が平和でありますようにとの願いを込めて地球バトの絵を描きました。手と手を取り合い、相手の笑顔が見たいなという気持ちがみんなにあれば地球は平和だと思います」

331複合地区：鳴海清花（13歳）
スポンサー・クラブ：北海道・函館北斗
「みんなが笑顔になれる遊園地やスイーツ。世界中の人も動物も楽しいことを共有し、平和を分かち合い、みんな幸せに平等に暮らせますようにと願いを込めました」

「平和を分かち合おう」をテーマに、2015・16年度国際平和ポスター・コンテストが開催中だ。年ごとに平和に関するテーマを設定し、平和について考え、また芸術に親しむ機会を子どもたちに提供するこのコンテスト。開始以来これまでに約100カ国から何百万人もの子どもたちが参加してきた。

ここで紹介する8作品は、今年度コンテストに参加する日本の子どもたちが描いたもので、約10万点に上った応募作品の中から、各クラブ、地区、複合地区での審査を勝ち抜き、12月15日、国際レベルの最終選考のために、アメリカ・オークブルックにあるライオンズクラブの国際本部に送られた秀作だ。最終審査では芸術、平和、若者、教育、マスコミの各分野から選ばれた審査員が、作品の独創性、芸術性、テーマの表現力により24点の優秀作品を選考。更にその中から最優秀賞1点を選出する。ご覧頂いている日本の児童による作品から受賞者が出るか、期待が高まる。

最終選考の結果は、2月初旬に本部から入賞者に通知される予定。最優秀賞者は賞金として5千ドルが贈られる他、スポンサー・クラブの会長と家族2人と共に、3月12日、ニューヨークで開催される国連ライオンズ・デーに招待され、この中で特別授賞式が行われる。

今年福岡で開かれる国際大会では最優秀及び優秀作品24点が展示ブースに展示される他、最優秀賞受賞者の直筆サイン入りポスターも販売される。原画を国内で鑑賞出来る貴重な機会だ。また国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）にも最新の優秀作品と、歴代最優秀作品が紹介されているのでぜひご覧頂きたい。

332複合地区：斉藤夢羽（13歳）
スポンサー･クラブ：岩手県･遠野
「平和をみんなで育み、喜びを分かち合える世界を願って描きました」

335複合地区： 今竹まい可（12歳）
スポンサー･クラブ：京都南
「人を認める寛大な心があれば争いは起こらない。人と自分の違いを認めながらも妬まず、おごらず、心に余裕のある人間になり、世界の平和を願います」

333複合地区：野川佳鈴（11歳）
スポンサー･クラブ：茨城県･取手
「悲しい思いをした人たちの気持ちを思い、ハトに世界中の人たちに『平和』を届けてほしいという願いを込めてこの絵を描きました」

336複合地区：小山里杏（13歳）
スポンサー･クラブ：愛媛県･西条石鎚
「平和を創り、守っていくのは私たちです。世界中の人たちと心から祈り願い協力し合うことの大切さを絵画に込めました」

337複合地区：金武甘奈（11歳）
スポンサー･クラブ：沖縄県･浦添てだこ
「幸せと平和の青い鳥、楽しく生きている赤ちゃん、蛇口からの水は豊かさのイメージです。幸せっていいな」

334複合地区：藤田悠利（11歳）
スポンサー･クラブ：富山県･高岡アラート
「地球というプレゼントを世界のみんなで大切にしていこうという気持ちを持つことが、国際平和につながると思います」

国際理事だより

■国際理事
西川義規
（兵庫県・姫路白鷺）

バンコク・フォーラム報告

第54回OSEALフォーラムが2015年12月3日から6日まで、タイ王国の首都バンコクで開催されました。

バンコクのスワンナプーム国際空港は東南アジアのハブ空港であり、ここ数十年間で国際都市へと成長を遂げました。ラッタナーコーシン島と呼ばれる旧市街の寺院群や、東洋のベニスと言われる運河沿い、街の中央を流れるチャオプラヤー川周辺の景観は古今の歴史と文化が見事に調和しています。

フォーラム・テーマは「Excellence Through Service」、「奉仕を通じての美徳」の意であり、奉仕におけるさまざまなセミナーが開催されました。中でも「Shaping Our Future（ライオンズの未来を形作る）セミナー」は、国際協会が新たな戦略計画として策定に励んでいる「LCIフォーワード」のために、世界各地のさまざまな層のライオンズから意見やアイデアを収集しようというものです。私がOSEALにおいての実施を任されて同セミナーで基調講演を行い、国際本部からはスコット・ドラムヘラー事務総長兼幹事とデーン・ラジョイPR及びコミュニケーション部長がプレゼンテーションを行いました。

「LCIフォーワード」の主な目標は、2020年度までに奉仕の受益者を2億人に増やし、彼らの生活を改善することで、今後私たちのインパクトを3倍にするというものです。ライオンズのブランド力を高め、またメンバー、クラブ、地区、国際協会の全てのレベルで最高の人道的奉仕を実現するにはどうしたらよいか、その戦略を2015・16年度中に練っております。今回のセミナーではその戦略に反映させるための貴重な意見を得ることが出来ました。

バンコク・フォーラムの全登録者数は8088人で、そのうち日本の登録者数は開催国タイに次いで多い2023人でした。

暁の寺、ワット・アルン

フォーラムでの主な決議事項は、関係各位への感謝の意を表されたことと、国際第2副会長としてグッドラン・イングバドター元国際理事（アイスランド）、国際第3副会長候補者としてチョン・ユルチョイ元国際理事（韓国）、国際理事候補者として中村泰久元地区ガバナー（日本）、マグネット・リン元地区ガバナー（台湾）を推薦することなどでした。なお、韓国からも国際理事候補者が一人選出されることになっております。

第55回OSEALフォーラムは香港で開催されます。

ライオンズ・ニュース・カセット

LIONS NEWS CASSETTE

第54回東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラムの主な決議事項

12月3日～6日の4日間にわたって開かれたタイ・バンコク・フォーラムは登録者数8088人（うち日本は2023人）に上った。主な決議事項は以下の通り。

●2016～18年国際理事候補として330複合地区（日本）の中村泰久元地区ガバナーを推薦

●2016～18年国際理事候補として300複合地区（台湾）のマグネット・リン元地区ガバナーを推薦

（韓国から推薦される2016～18年国際理事候補は未定）

●2016・17年度国際第2副会長候補としてグッドラン・イングバドター元国際理事（アイスランド）を推薦

●2016・17年度国際第3副会長候補としてチョン・ユルチョイ元国際理事（韓国）を推薦

●第55回OSEALフォーラムは香港で2016年11月10～13日に開催

今フォーラムで国際理事候補者として推薦を受けた中村泰久元地区ガバナー（埼玉県・大宮北ライオンズクラブ）は93年入会、04年度クラブ会長、08年度ゾーン・チェアパーソンを経て、12年度地区ガバナーに就任した。国際理事、国際第2及び第3副会長の選挙は2016年6月に福岡で開かれる第99回国際大会で行われる。

ジャパン・レセプションで抱負を述べる中村国際理事候補

2016年福岡国際大会の代議員資格証明

国際大会では代議員による国際会則及び付則の改正案の賛否投票と、国際会長、国際副会長、国際理事選挙が行われる。昨年のホノルル国際大会において、国際第3副会長職を再導入する国際会則改正案が可決されたのを受け、福岡国際大会では国際第2副会長と国際第3副会長の選挙が同時に行われることになる。

福岡国際大会で投票が行われるのは大会最終日の6月28日。各クラブは会員25人ごとに代議員1人と補欠1人を派遣して、投票することが出来る（国際会則第6条第2項を参照）。代議員となるには、本号34ページ掲載の代議員及び補欠代議員証明用書式を提出し、資格証明を受ける必要がある。国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）の国際大会のページでダウンロード出来る同書式には、記入方法の説明が添付されているので参考にされたい。なお今回から、補欠代議員の資格証明手続きは代議員と交代する場合にのみ行うよう変更された。

国際会則及び付則の改正案と、国際第2及び第3副会長候補者は本誌6月号に掲載予定。

6300万人に達した100周年記念奉仕チャレンジ

2018年6月までに青少年、視力、食料支援、環境の四つの分野で2500万人ずつ、合計1億人に奉仕することを目標に掲げる100周年記念奉仕チャレンジ。14年7月にスタートして以降、ライオンズの奉仕を受けた人の人数

は、15年11月末現在で6300万人に達した。分野別では青少年2200万人、視力は1100万人、食料支援は1200万人、環境は1800万人で、青少年については今年度中に目標に達しそうな勢いだ。

国際協会100年の歴史を振り返る記念ビデオ

2017年の創設100周年を前に、国際協会の100年の歴史を振り返る記念ビデオ・シリーズが製作、公開されている。

第1弾は100年前の世相や協会立ち上げの立役者などを紹介する「創立」（6分25秒）。第2弾は創設者メルビン・ジョーンズの40年以上にわたる活動を通じて、今に受け継がれる伝統や、協会の方針が築かれた経緯を紹介する「メルビン・ジョーンズの影響」（9分40秒）。第3弾はライオンズが世界中で取り組んできた奉仕活動を紹介する「100年を概観」（2分8秒）。第4弾はヘレン・ケラーが要請した盲人の騎士となる挑戦に応えようと取り組んできた視覚障害者支援の奉仕活動を紹介する「盲人の騎士」（10分13秒）。

100周年記念ビデオ「メルビン・ジョーンズの影響」の一場面

いずれも国際協会公式ウェブサイトの100周年特別サイト（http://lions100.lionsclubs.org/JA）でダウンロード出来るが、現在のところ提供されているのは英語版のみとなっている。ただし、第1弾「創立」と第2弾「メルビン・ジョーンズの影響」については、太平洋アジア課日本語サイト（https://sites.google.com/site/pacificasianja/）の100周年のページで、日本語字幕版を公開している。

今年度上半期に交付されたLCIF交付金

2015年7月から12月までに承認されたLCIF交付金は、一般援助交付金52件290万4910ドル、国際援助交付金11件16万5620ドル、緊急援助金91件706万8903ドル、四大交付金30件293万9750ドル、視力ファースト交付金30件829万8277ドル、LCIF理事長承認の少額の交付金7件5万5千ドルで、合計221件2143万2460ドルだった。日本には37件73万6895ドルが交付された。各地区に交付された交付金は以下の通り。

■一般援助交付金

▼330-A地区=ラオスの小学校拡張3万ドル▼330-B地区=障害者及び高齢者用輸送車両購入1万5千ドル▼331-A地区=障害者センターの備品1万1千ドル▼332-D地区=児童福祉施設の輸送車両購入2万ドル▼334-A地区=福祉協会の輸送車両購入1万150ドル▼334-A地区=血液輸送車両購入1万7500ドル▼337-D地区=ラオスに小学校建設1万5千ドル

■国際援助交付金

▼330-C地区=タイの病院に保健設備1万ドル▼330-B地区=タイの病院に保健設備1万ドル▼334-A地区=カンボジアの水道5620ドル▼334-A地区=カンボジアの学校改修1万5千ドル▼334-A地区=カンボジアの学校3校に衛生設備1万ドル▼334-E地区=第41回フィリピン医療奉仕3万ドル▼334-E地区=フィリピン歯科医療奉仕3万ドル▼337-C地区=バングラデシュ医療奉仕1万ドル

■緊急援助金

▼332-C地区=水害1万ドル▼332-D地区=水害1万ドル▼333-B地区=水害1万ドル▼333-E地区=水害1万ドル

■四大交付金（全てライオンズクエスト拡張）

▼330-C地区=2万5千ドル▼332-A地区=5千ドル▼332-B地区=2万5千ドル▼332-E地区=2万5千ドル▼333-A地区=1万7千ドル▼333-B、C地区=8万5千ドル▼333-E地区=2万5千ドル▼334-A地区=2万5千ドル▼334-B地区=2万5千ドル▼334-C地区=2万5千ドル▼335-B地区=2万5千ドル▼335-C地区=2万5千ドル▼335-D地区=1万5千ドル▼336-A地区=2万5千ドル▼336-B地区=1万3125ドル▼336-C地区=2万2500ドル▼337-A地区=2万5千ドル▼337-D地区=2万5千ドル

骨髄移植後の患者の思い伝える冊子「My Life ～移植を越えて～」

公益財団法人日本骨髄バンクが骨髄移植を受けた患者のその後を伝える冊子『My Life～移植を越えて～』を発行した。1991年に（公財）日本骨髄バンク（発足時は骨髄移植推進財団）が設立されて以降、同バンクを通じて移植を受けた患者は1万8千人余りを数える。骨髄バンクでは提供者に対して移植後の患者の個別状況を知らせないという方針を取っている。骨髄の提供を受けた患者とドナーは手紙の交換が出来るが、患者の移植後の経過などの事情により、手紙が届くドナーは約半数に留まる。そのため骨髄バンクには、「患者さんの状況を知りたい」というドナーやその家族からの声が寄せられていた。バンクでは外部の識者を交えて検討を行い、少しでも移植後のことについて知ってもらいたいと冊子をまとめた。冊子には移植後の生活や喜びを語る患者のインタビューの他、骨髄バンク関連のデータ資料、移植治療の経過説明や白血病の歴史に関する分かりやすい解説も掲載されている。

『My Life～移植を越えて～』は日本骨髄バンクのウェブサイト内でダウンロード出来る（http://www.jmdp.or.jp/donation/mylife-web201510.pdf）。

会議録

■第1回複合地区IT委員長連絡会議要録（12月1日）①世話人の互選②ウェブサイト倫理綱領③2014・15年度IT委員長連絡会議要録④今年度の審議課題⑤IT専門部会内規

■第5回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（12月4日）①出席者あいさつ②議長連絡会議と麻薬・覚せい剤乱用防止センターとの合意文書③日本ライオンズ事務所統合委員会会議報告④「倫理委員会」の設置について⑤1複合地区（シカゴ）協議会議長からのメールについて⑥第2回日本ライオンズ・ガバナー協議会会議関連事項⑦2020東京オリンピック・パラリンピック支援金口座⑧その他⑨各種会議要録⑩日本ライオンズ連絡事務所運営関係

■第5回ライオン誌日本語版委員会（12月9日）①ライオン誌日本語版事務所の運営②事務所統合委員会③2015年12月号（11月20日見本／9万7千部発行）出来④16年1月号記事内容の確認⑤2月号以降台割（案）と主要記事予定⑥ライオン誌デジタル化⑦その他

■第2回複合地区YCE委員長連絡会議要録（12月4日）①冬期交換Ⓐ派遣生Ⓑ来日生②春・夏期交換Ⓐ派遣生Ⓑ最新来日情報Ⓒ派遣生用頒布品について③派遣旅行代金について④ウェブ会議開催について⑤ヨーロッパ・フォーラムYCE委員会報告⑥337複合地区からのYCEキャンプ・アンケート結果報告

■第2回複合地区会則委員長連絡会議（12月17日）①前回会議要録の確認②秋季国際理事会決議事項要約の確認③標準版地区会則及び付則（2016年7月1日発効）の検討④2016-17年度ライオンズクラブ役員必携の製作⑤337-A地区からの要望⑥その他

新結成／解散／合併／復帰クラブ

■新結成クラブ
群馬県・館林つつじ（櫻井正廣会長／27人）▼12月28日認証▼スポンサー／館林

■解散クラブ
12月＝東京フロンティア／滋賀県・大津比叡（合併）

■合併クラブ（合併前のクラブ）
滋賀県・大津びわこ比叡（大津びわこ／大津比叡）

■復帰クラブ
12月＝兵庫県・神戸ハーバー

訃報

■元国際役員

ライオン村中征次郎（熊本県・玉名）12月4日死去。76歳。13年度337-E地区ガバナー、今年度同地区GMTコーディネーター。

ライオン菅澤亨（茨城県・土浦亀城）12月24日死去。92歳。90年度333複合地区ガバナー協議会議長、333-B（現E）地区ガバナー。

ライオン荒瀬孝之（徳島県・阿南）1月5日死去。80歳。99年度336-A地区ガバナー。

■献眼者
11月＝ライオン髙野ワサ（長崎県・諫早センチュリアン）／ライオン田中繁（長崎県・佐世保東）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会へ提出

日本 福岡における2016年国際大会代議員/補欠代議員資格証明用書式

(手続きを迅速に済ませられるよう、活字体のローマ字ではっきりと記入してください)

クラブ番号：________________地区：_______________

クラブ名：____

市区町村：________________________________都道府県____________________国_____________________________

該当するものを一つ選択： ☐ 代議員 または ☐ 補欠代議員 会員番号：___________________

____ ____
代議員/補欠代議員の氏名を活字体のローマ字で記入 代議員/補欠代議員の署名

下記署名者は、上記の者が正会員であり、本年度ライオンズクラブ国際大会への代議員/補欠代議員として、当ライオンズクラブにより正式に任命されたことをここに認定する。

____ ____
役員の氏名を活字体のローマ字で記入 クラブ役員の署名/役職名

2016年5月1日までに、この部分をライオンズクラブ国際協会宛てにお送りください。
(Lions Clubs International · Member Service Center · 300 W 22nd Street · Oak Brook, IL 60523-8842 USA ·
Eメール:memberservicecenter@lionsclubs.org · 電話:1+630-203-3830 · FAX:1+630-571-1687)
5月1日を過ぎてからは、この書類をそっくり国際大会にご持参ください。

JA

代議員/補欠代議員控え

日本 福岡における2016年国際大会代議員/補欠代議員資格証明用書式

(この控えを国際大会にご持参ください)

(手続きを迅速に済ませられるよう、活字体のローマ字ではっきりと記入してください)

クラブ番号：________________地区：_______________

クラブ名：____

市区町村：________________________________都道府県____________________国_____________________________

該当するものを一つ選択： ☐ 代議員 または ☐ 補欠代議員 会員番号：___________________

____ ____
代議員/補欠代議員の氏名を活字体のローマ字で記入 代議員/補欠代議員の署名

下記署名者は、上記の者が正会員であり、本年度ライオンズクラブ国際大会への代議員/補欠代議員として、当ライオンズクラブにより正式に任命されたことをここに認定する。

__________________________________ ______________________________________
役員の氏名を活字体のローマ字で記入 クラブ役員の署名/役職名

福岡国際大会への道 ⑥
九州の魅力を味わう宿泊のアイデア

福岡国際大会まであと4カ月。「国際大会に参加する予定だが宿が取りにくい」という声をお聞きすることがあります。近年、海外から多くの旅行者が福岡を訪れるようになり、宿が取りづらい状況となっています。今回は宿泊に関するアイデアをご紹介します。

福岡に宿泊せずに佐賀、熊本、鹿児島、大分、長崎に宿泊し、この機会に九州を楽しむのはいかがでしょうか。

例えば6月26日早朝の飛行機や新幹線で福岡に到着し、開会式に参加した後、佐賀、熊本、鹿児島、大分、長崎で宿泊すれば、九州各地の食や自然、歴史を楽しむことが出来ます。JR佐賀駅まで特急利用で40分（4枚きっぷ利用で片道千円）、熊本駅は新幹線利用で約40分（2枚きっぷ利用で片道3600円）、鹿児島中央駅は新幹線利用で約1時間20分（2枚きっぷ利用で片道9260円）、大分駅はJR特急利用で約2時間（4枚きっぷ利用で片道2750円）、長崎はJR特急利用で約2時間（4枚きっぷ利用で片道2750円）。翌日は福岡に戻り、各種セミナーに参加することも可能です。

ご紹介した各地への移動には交通費がかかりますが、宿泊料金は福岡より安いので意外とお得かもしれません。今回は日帰り圏内のご紹介を致しましたが、次回は宮崎、沖縄の魅力をお伝えしたいと思います。旅程のご参考として頂くために、ご紹介した佐賀、熊本、鹿児島、大分、長崎の主な観光スポットをご紹介します。

佐賀：佐賀七賢人を始め、多くの人材を産業界、官界に輩出してきた佐賀。大隈重信記念館などで、近代日本史に触れることが出来ます。嬉野、武雄、古湯など温泉も多く、グルメは、全国区ブランドの佐賀牛、B級グルメのシシリアンライス、呼子のイカなど

熊本城

熊本：世界最大のカルデラ阿蘇があり、名将加藤清正が築いた熊本城、玉名温泉、山鹿温泉、黒川温泉など有名な温泉地やゴルフ場も多数。食は馬刺し、新鮮な魚、ヘルシーな赤牛

鹿児島：桜島、西郷隆盛の歴史探訪、坂本竜馬が新婚旅行で訪ねた霧島温泉や霧島神宮。南下すれば砂蒸し風呂の指宿、世界遺産屋久島。食は黒豚、さつまあげや鶏飯、芋焼酎

大分：九州の軽井沢と言われる湯布院や日本一の温泉湧出量を誇る別府など良質な温泉が多数。関アジ、関サバなどのおいしい魚やB級グルメとして中津のから揚げが有名。また、大分から四国の愛媛までフェリーで70分と意外に近い

長崎：江戸鎖国時代の唯一の開港で異国情緒あふれる長崎、温泉の街雲仙や、ふるさと納税日本一で海産物が有名な平戸、県第二の都市・佐世保では、西海国立公園九十九島、ハウステンボス、佐世保バーガー

PR委員会ではフェイスブックページを開設しています。個別の旅程でご質問、ご相談がありましたらどしどし投稿してください。出来るだけ早くお答えします。

（第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会／PR委員会）

エリアフォーラム・リポート④

ISAMEフォーラム

第6会則地域のフォーラムは12月16日〜19日、41カ国、約4千人が参加して、インド・グジャラート州の州都ガンディナガールと、同州の中心都市アーメダバードで開催された。インドを訪問するのは十数年ぶりだが、この地で開催されるライオンズの行事に参加するのは初めてだし、もちろんOSEAL以外のフォーラムへの参加も初めてのこと。そのため、大いなる興味を持ってフォーラムに臨んだ。

（取材／ライオン誌日本語版委員　寺越慎一）

第6会則地域：インド・南アジア・アフリカ・中東

●国数：62の国及び地域
●クラブ数：9,708クラブ
●会員数：31万2,952人
（2015年11月末現在）

開会式の主賓としてあいさつし、100周年記念奉仕チャレンジへのISAMEの貢献をたたえる山田国際会長

第2回総会の中で、フォーラム・テーマ「勝利の瞬間」について話し合ったパネル・ディスカッション。このプログラムに限らず、会場からも活発な発言が相次いだ

インドへ向かう4日前の12月12日、安倍晋三首相とインドのナレンドラ・モディ首相の会談で、インドが日本の新幹線を採用することで合意したというニュースが報じられた。ルートは、インド最大の都市ムンバイと、モディ首相がかつて行政トップを務めたグジャラート州の工業都市アーメダバードを結ぶ全長約500㌔だという。

グジャラート州はモディ首相が州首相を務めていた時代から高い経済発展を実現。その州都ガンディナガールと、中心都市アーメダバードが今回のフォーラム開催地だ。ガンディナガールは、グジャラート州出身のマハトマ・ガンディーにちなんで名付けられた。意味は「ガンディーの町」である。人口は約20万人。宿泊施設はあまり無いようで、フォーラムの公式ホテルは約30㌔離れたアーメダバードに設営されていた。

参加者には組織委員会から、4人ごと、もしくはご夫婦での参加が多いからかホテル2部屋ごとに1台ずつ、運転手付きの車が用意され、会場とホテルの移動に供された。主要会場はガンディナガールにあるコンベンション&エキシビションセンター「マハトマ・マンディール」で、開閉会式や総会、協議会、各種セミナーなどは全てここで行われた。

開会式で基調講演をする人気作家チェタン・バガット氏

第2回総会で講演する、タゴール国際大学のサマニ・シャリトラ・プラジャ副学長

イエメンから3千人以上避難者を救出したエア・インディアのリシャブ・カプール機長

開閉会式と2回の総会が行われたマハトマ・マンディールのメイン会場

全参加者に移動のための専用車

アーメダバードの空港へ着いたのは17日午前6時30分。空港に降りてもフォーラムがあるような雰囲気は全然なく、ライオンズ会員の姿も見当たらない。空港の外に出てやっとフォーラムの看板を見付けたが、地元ライオンズのメンバーがいるわけでもなく、フォーラムが開催されているという様子は感じられなかった。

その後、プリペイドタクシーで本部ホテルへ向かった。ホテルにも大きな看板は無く、受付の机が二つだけ置かれていた。ホテルは宿泊だけなので仕方がないが、一抹の寂しさを感じた。

ホテルは朝早かったにもかかわらずチェックインに応じてくれ、荷物を部屋に入れて、会場となるマハトマ・マンディールへ向かうことにした。この時初めて、移動のため運転手付きの車が用意されていることを知った。はるばる日本から来たとかいう特別扱いではなく、車も登録料250ドルの中に含まれているらしい。

本部ホテルから会場まで、随分飛ばしたように思えたが、交通渋滞もあり、この日は約50分かかった。しかもインドの運転マナーは猛烈で、

主会場マハトマ・マンディールの入口。下の写真は、右から山田会長と地区ガバナーの対話会合、会場中庭に設けられたネパールのアクティビティ紹介ブース、昼食会場

反対車線にはみ出すなど当たり前、逆走する車にも何度も遭遇。全く生きた心地がしなかった。

途中、会場の5キロぐらい手前から、道路のあちこちにフォーラムの看板が掲げられ、ようやくフォーラムらしさが漂ってきた。マハトマ・マンディールのメイン会場は1万人を収容出来、また150人収容の会議室が8室、その他中庭や更に大きなイベント会場が隣接していた。設備としては十分であり、面積も広いが、造りはいま一つの印象だった。

学ぶべき積極的な参加姿勢

初日は17時からの開会式を前に、合計21のセミナーと会議が設定されていた。最初のセッションは午前10時からで、私は佐藤宜之国際理事、鈴木誓男国際理事会アポインティーと共に、まず山田實紘国際会長と地区ガバナーの対話を覗くことにした。

15分ほど遅れて始まった対話会合では、各地区ガバナーから、国際会長プログラムに沿って実施しているアクティビティの成功事例が挙げられ共有した。例えばスラムの子どもたちへの食事の提供、スポーツに触れさせるためのバスケットボール・コートの設置、トイレを作って衛生環境を整備といった事業で、他に100周年記念奉仕チャレンジの一つ食料支援について、10万人分の食料を提供し、ギネスブックに登録されたとの話題も紹介された。これに対して山田会長は、事例一つひとつに丁寧にコメントした後、いま全世界的に難民問題がクローズアップされている。この地域は中東、アフリカの国々を擁しており、特に身近な問題として捉え、関心を持ってほしいと訴えた。

こうしたセミナーや会議は昼食を挟んで3セッション、それぞれ1時間15分ずつ7会場で行われていた。参加者たちは、それぞれ自分で出たいセミナーを選んで出席するが、どの会場も60~70％は席が埋まり、熱心に参加しているようであった。

また会場の外には各国、各地区のアクティビティ・ブースが並び、多くの参加者が足を止め情報交換をしていた。それらの中には病院や学校を運営するなど、大規模な事業もあり、ライオンズ活動にもお国ぶりが反映していることを感じた。

中庭を挟んだ展示場には、公認業者のブースが並び、一番奥には食事の会場が設けられていた。席やテーブルは数えるほどしか無く、参加者は立ったままここで食事をしていた。

12月18日にはアーメダバードの中心地で、各国、各地区ごとに参加者によるパレードが行われた

私たちもここで昼食をとったが、さすがインド、全てカレー味で、申し訳ないが、日本人には向かない食事だった。

17時からの開会式はほぼ予定通り、30分前から音楽と踊りが披露され開会。会場は5500人分ぐらいの椅子が用意され、最終的には3千人余りが着席したようである。ガバナー等の入場行進はなく、エリア内各国の国旗入場式があった。その後、国際会長やアナンディベン・パテル州知事のあいさつなど、20時まで3時間にわたってプログラム通りに進行したが、OSEALと違い、ほとんどのメンバーが退席することはなかった。基調講演は『タイム誌』で世界で最も影響力のある100人にも選ばれ世界的に知られるインドの作家チェタン・バガット氏が務めたが、皆熱心に聞いており、講演後には質問をする人も多かった。

町中を華やかにパレード

2日目は朝9時にホテルを出発。この日は道路が空いており、35分ほどで会場へ着いてしまった。まだ人が少ない。が、それは第1回総会開会予定の10時になっても変わらず、壇上にも人はいない。結局30分ほど遅れて開会したが、その時点で会場には150人ほどしかいなかった。それでもプログラムが進行するうち徐々に人が増え、11時過ぎには700人ぐらいが集まっていた。会場の外にも400人ぐらいはいたと思う。第1回総会後の昼食は前日と同じメニューのカレー尽くしであった。

この日は16時から、参加各国によるパレードがアーメダバードの中心地で行われた。道路を渡るのも怖い交通渋滞の中、民族衣装を身にまとったアフリカや中東のライオンズが行進。ネパールの一団は250人ほどもいただろうか、非常に目立っていたが、案の定翌日の閉会式で発表されたパレード・コンテストのマーチング部門で第1位を獲得していた。ちなみに、コンテストのもう一つデモンストレーション部門では、踊りながら行進していたナイジェリアが第1位に選ばれた。OSEALではパレードはないが、交通事情などを考えると、実施するのは大変だと思う。

パレードの終点は、セダー・パテル・スタジアム（クリケット場）で、場内に入ると耳が痛いくらいの大音量でロックが演奏されていた。スタジアムには丸テーブルが並べられ、即席の野外夕食会場になっていた。我々は音に驚いて早々に退散したが、参加者たちはこの大音響の中、夜半近くまで歌い踊り続けたそうだ。

100周年記念奉仕チャレンジのチャリティーとして実施されたライブ･パフォーマンスにて

最終日は午前中に第2回総会があり、昼食を挟んで午後には2回目の協議会と閉会式が行われた。開会式を除くほとんどの会議が予定より30～40分遅れて始まるなど、時間にはややルーズな面が見られたが、一度会議が始まると、皆熱心に聞き、質疑応答では多くの参加者が積極的に発言しているのが印象的だった。

ところで開催地のグジャラート州は禁酒州である。酒がない夕食など考えられない、晩酌派の私と佐藤国際理事にとっては、少し寂しい毎日だったことを告白しておく。

会員増強プロジェクト・チーム

会員倍増計画リポート⑤

◎東日本担当FWTエリアリーダー報告
◎11月第1位：333-E地区ガバナー報告

◎会員増強と新しい奉仕活動

FWTエリアリーダー
東日本担当／大石誠

日本にライオンズクラブが誕生して63年、その間日本の経済と社会は大きく変化してきました。ライオンズを取り巻く環境も様変わりし、特に会員減少と旧態依然とした奉仕活動は、今後を考えると大きな問題です。

山田国際会長は一昨年、従来の家族会員制度を日本向けパイロット・プログラムに発展させ、本年度はそれを更に進化させたFWT（家族及び女性チーム）を開始しました。より多く、より質の高い奉仕活動のためにFWTは家族及び女性会員の増強と指導力育成、女性の目線と感性を生かした奉仕活動の開拓と実践に取り組み始めました。

330複合地区FWTは最近顕在化した子どもの貧困に焦点を当て、子どもたちが夢と希望を持てる社会の実現に取り組んでいます。そしてこの活動を軸に、賛同する女性の入会を促進しています。奉仕を中心として会員の維持と増強を図ることは中長期的に大変重要です。会員増強の有効な手段としては家族会員制度の効果的な活用が即効性を持ちます。そして女性が入会しやすい制度（会費等）と運営の工夫も必要です。山田国際会長の下、日本のライオンズが大きく発展する契機となるべく、FWTは複合地区・準地区・クラブと連携し成果を上げたいと考えています。

◎11月第1位：333-E地区

地区ガバナー／下川利澄

地区の団結の成果

初めに、関東・東北豪雨災害へ心温まる支援金をお寄せ頂き深く感謝申し上げます。常総市を中心に被災者の皆様へ見舞金等を贈呈させて頂きました。ライオンズの存在感が一層増し、絆の強さを改めて感じているところです。

さて11月の入会者数が全国1位ということです。地区の団結の結果です。特別な家族会員制度のスタートから橋ガバナー、大祢ガバナーにより地区会員への制度説明とご理解を頂く努力の積み重ねで得られた成果と思います。加えて、ゾーン・チェアパーソンやクラブ会長の会員増強への熱意と努力が、会員に受け入れられた結果です。しかし、地区の会員倍増まではあと一歩、いよいよこれからが本番です。皆さんで達成までがんばりましょう。

全国のライオンズの皆様、笑顔でWe Serve「ありがとう・大好き」。

11月新会員数ベスト6地区

☆第1位　333-E地区
92人（累計233）増
下川利澄地区ガバナー

☆第2位　336-B地区
85人（累計243）増
尾﨑博地区ガバナー

☆第3位　337-A地区
64人（累計451）増
藤井勝彦地区ガバナー

☆第4位　336-C地区
57人（累計381）増
片岡文彰地区ガバナー

☆第5位　336-A地区
50人（累計292）増
橋本充好地区ガバナー

☆第6位　335-B地区
47人（累計457）増
中村猛地区ガバナー

（国際本部集計／11月末現在）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

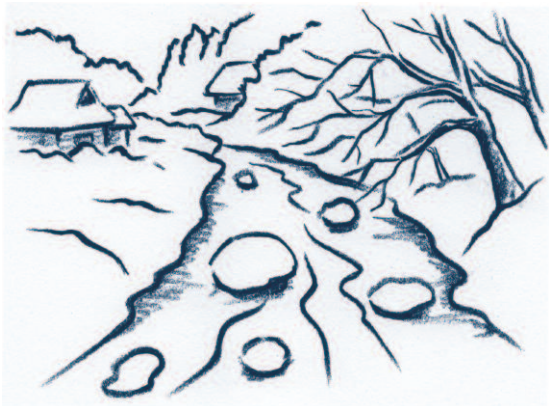
ＹＣＥ事業と車いす使用者の受け入れ

濱脇　哲夫（長崎南）

２０１５年度夏期ＹＣＥプログラムの派遣・受け入れも無事に終え、現在は海外からの冬期来日生や日本からの派遣生の見送りと出迎えで、早朝から何度も空港に足を運ぶ状況が続いています。我が337複合地区に限らず他の地区でも同様でしょう。

そのため、事業を担当するＹＣＥ委員を始め、派遣及び受け入れをされる関係クラブ、ライオンズ・メンバーの皆さんには、大変ご足労をおかけしております。師走のこの時期は寒さ増す中にあって、「いざＹＣＥ委員会出陣」なのです。

この夏期の派遣を振り返り当地区で印象に残ったのは、車いす使用の方を派遣したことです。２年越しの周到な準備の中、当初は介添人同行の必要性や受け入れ先の協力が得られるかなど心配な点がありましたが、ホスト・ファミリーとの信頼関係の構築、ご本人の英語力、適切な説明などのやりとりといった努力が実り、単独で渡航されました。

また、それを支えた複合地区事務局、地区キャビネットによる航空会社との度重なる交渉など、派遣生と行動、情報を共有したことも忘れてはなりません。帰国後ご本人からは、ＹＣＥ事業を通じて有意義な経験を提供してくれたライオンズクラブに対する感謝の言葉と、アメリカでの生活模様の写真が寄せられています。笑顔で車いすの介添えをする家族、キャンプへの参加など、屈託のない姿に感銘を受けました。

もし、逆の立場で受け入れをお願いされたらどうでしょう。車いすが使えるようにバリアフリーに向けた住宅改造、段差の解消などがまず思いつきます。それが出来ていないこと、家族の協力が得られるかなどを断る材料にするでしょう。健常者の受け入れでも大変なのに、外国人で、しかも車いすでは受け入れられないというのが現実でしょう。

私は、ホスト・ファミリーの寛大さ、奉仕の心の広さを感じました。まさに山田實紘国際会長が求めるヒューマニティーです。

最近、ある海外の複合地区ＹＣＥ委員長さんらが長崎へおいでになり、ＹＣＥ事業について意見を交換しました。その時この事例を説明し、あなたのところでは受け入れされますかとお尋ねしました。答えははっきりと「ノー」でした。理由は、責任が持てないとのこと。このことを私は今、自問自答しています。

山田会長は会長テーマとして「命の尊厳と和」を掲げられています。ライオンズに求められるものとして社会的弱者に対する支援が叫ばれています。車いす使用者の受け入れ、あなたなら

イラスト／小川和政

どうしますか？
　そして、この冬期の派遣でまたうれしいことがありました。視覚障害のある派遣生と同一国に行かれる派遣生が目の代わりも含め、必要な手助けをすることとなり、派遣受け入れが決まりました。互いに見知らぬ二人でしたが、親善大使として立派に役割を果たして来られるでしょう。
　困難を克服して派遣される喜びに満ちた派遣生、一方でこれを支える奉仕の心を持った派遣生のお二人に、大きな拍手を送りたいと思います。ライオンズクラブは皆さんを応援しています。

（00年入会／337複合地区YCE委員会委員長／65歳）

アビリンピックに参加して

山村　正治（高知北）

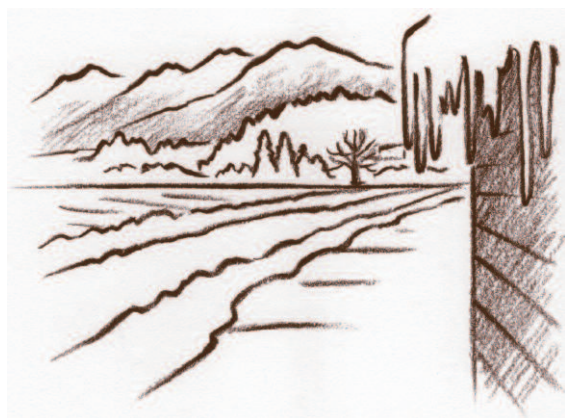
　2015年7月4日、高齢・障害・求職者雇用支援機関高知支部で、アビリンピックが開催されました。70人が参加申し込みをし、64人がエントリー。当クラブからもライオン山本城男、ライオン近藤強、ライオン畑山育子、ライオン岩原常男、そして私の5人で参加協力して参りました。
　アビリンピックとは、身体に何らかの障害のある方々が、日頃、職場で培った技能をお互いに競い合うことにより、その職業能力向上を図ると共に、企業や社会一般の人々の理解と認識を深めることを目的として開催されています。この大会で成績優秀とされた方は、全国大会や世界大会に進むことが出来ます。高知大会は今回で15回目だそうです。以下の6競技が、それぞれの会場で執り行われました。
　①ワード・プロセッサ（A・Bコース）、②表計算（A上級・B初級）、③パソコン操作（視覚障害者限定）、④喫茶サービス（お客様への接待）、⑤DTP（書類、新聞などの出版物編集に際しての割り付け作業）、⑥ビルクリーニング（模擬オフィスにおいての清掃と機械の取り扱い）
　私たちも④の喫茶サービスのお手伝いをしました。この競技は主に知的障害を持った方たちが参加して、接客技術、おもてなしの気持ちや笑顔での接客をポイントで競うものです。私は客の役で、決められた質問や行動で競技者を試す役でした。初めに担当の方から
「緊張しないでください。お客様役が緊張すると競技者にまで伝わりますから」
　と注意がありましたが、やはり順番が回ってくると、私たちも競技者も緊張の極限に達していました。
　競技者は私たちの孫くらいの方が多く、「うまく対応して」と願うような気持ちで質問をしました。互いに緊張しながらもうまく出来ると、競技者も私たちもホッとする思いでした。
　この競技の参加者は最も多く21人。私たちも2人1組で2巡、計4回参加し、予定の時間をはるかに過ぎての熱の入った競技になりました。参加者の一生懸命な取り組みに、一人ひとりのトライが終わる度に見学者からは盛大な拍手が起こりました。競技前は緊張で固い表情が多く見られましたが、昼食時は緊張も解け、提供したお弁当をみんな一緒に和気あいあいとってお られました。
　この後ミニコンサートがあり、いよいよ成績発表、表彰式です。選手たちはこの賞をもらうことで日頃の仕事へ

の励みになるそうです。主催者の支部長から各部門の入賞者へ賞状が手渡され、大きな拍手が鳴り響きました。私たちも「また来年に向かって日々がんばってください」と、ねぎらいと激励の拍手を送りました。

（84年入会／地区青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕・レクリエーション委員会／66歳）

外来種アライグマ問題 ~生物多様性の危機

原　孝男（北海道・札幌新星）

地球上には推定3千万種もの生き物が互いにつながり合いながら生きています。このようにたくさんの生き物がいて、それらがつながり合っていることを「生物多様性」と言います。私たち人間は、水や空気、衣食住など生物多様性からさまざまな恵みを受けて生きていますが、その一方で私たち人間の影響により、1年間に4万種もの生き物が絶滅していると言われています。失われつつある生物多様性は現在、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題です。喪失の原因の一つに外来種の問題があります。

外国から持ち込まれたものを含め、もともと居なかった地域に人為的に持ち込まれた生き物を外来種と言います。この中には在来種を駆逐し、生態系に大きな被害を及ぼす「侵略的外来種」もおり、各地で問題となっています。

今回は外来種の中でも特に、アライグマの被害の拡大を知って頂きたいと思います。

札幌郊外に広大に広がる野幌森林公園。ここでアライグマは木のウロをすみかにし、営巣していたフクロウを追い出しました。また、アライグマが繁殖したことでアオサギが営巣を放棄しコロニーが消滅してしまいました。アライグマは鳥の雛や卵を食べるのです。

放されたり逃げ出したりしたペットのアライグマが、北海道の生態系に影を落とし始めています。平成7年には道内で生息が確認された市町村は24でしたが、27年には１４９市町村とほぼ全域に広がりました。農業被害も表面化。アライグマを見かけるようになると、キツネやタヌキの姿が消えた、カエルの声も聞かれなくなったという報告もあります。

原産地の北米では住宅街から森林地帯まで広く生息しているアライグマは、雑食性で手先が器用、木登りが上手、そしてずば抜けて高い学習能力を持ちます。高い妊娠率で1回に3～6頭を出産。日本には天敵が居ないこともあり、放っておけば恐ろしい勢いで増加していきます。更に狂犬病などの人獣共通感染症も媒介するのです。

アライグマがこれほど多く逃亡することになった背景には70年代後半に放映された人気アニメ「あらいぐまラスカル」によるブームがあります。独特

の姿やしぐさの愛らしさが人気を呼び、一時はペットとして数万頭が輸入されました。しかしアライグマは幼獣の頃は人間になついてかわいいものの、成獣になると気が荒く狂暴になります。決してペット向きの動物ではなく、そのため飼い主が持て余して放獣する結果を引き起こしてきたのです。

外来種問題は人災です。私たちに出来ることは、家庭から外来種を「入れない、捨てない、広げない」を守ること。自然観察や自然体験の機会を増やすこと。自然との触れ合いは、身近な生き物に対する興味や関心を深め、家庭や地域での対話や生物多様性に対する理解を広げ、地域の魅力を再発見するきっかけになります。そして私たちは、ペットを最後まで責任を持って飼わなければいけません。

（地区国際関係委員会委員長／84年入会／72歳）

参考：公益財団法人日本自然保護協会会報『自然保護』

阿部俊三氏追悼文

寺田　義和（東京鶯谷）

２０１５年10月21日（水）、（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター専務理事の阿部俊三さんが、自宅で急逝されました。前日体調が悪く、センターを早退しタクシーで自宅に戻ったそうです。その日16時50分に小生が電話した時「風邪をひいたみたいで調子が悪い」と元気のない声でした。「お大事に」。これが彼との最後の会話です。

21日朝、薬物乱用防止認定講師養成講座が有るので起こすように頼まれた弟さんが自宅に行ったところ、既に亡くなっていたそうです。彼は長年糖尿病を患い付随するさまざまな病状を抱え、病院通いが必須にもかかわらず全国を行脚し、70歳の生涯を閉じました。

日本ライオンズ全35準地区に、彼はとても大きな足跡を残しています。ライオンズ・メンバーではありませんでしたが、行く先々で「阿部ライオン」と呼ばれるほど、メンバーに愛された大切な人でした。

阿部さんは山梨県出身。非常に多才な人で、一世を風靡した興和薬品コルゲンコーワのCM「おまえヘソねえじゃねえか」のフレーズを学生時代に作成。早稲田大学卒業後東映大泉撮影所に助監督として入り、「大地の夜明け」という同和問題を取り上げた映画を監督されました。撮影中は神戸の任侠親分と交流するなど、エピソードが尽きません。センターのビデオにも映画監督の才能が発揮されています。代議士の秘書も経験され、競輪創始者の倉茂武氏らの応援を得て麻薬・覚せい剤乱用防止センターを設立、初代理事長に高辻正巳氏（内閣法制庁長官、竹下内閣法務大臣、国家公安委員会委員）が就任されました。「ダメ。ゼッタイ。」の標語も彼が創作しました。

私生活では、最愛の婚約者をヨーロッパ旅行の最中に一酸化炭素中毒で亡くされ、薬物乱用防止問題で交流の深かった故ライオン倉田秋太郎（東京蔵前ライオンズクラブ）からの再々の見合い話も断って生涯独身を通しました。

小生と彼との出会いは93年。当時センターは主に「ダメ。ゼッタイ。」キャンペーンを行い、繁華街や駅頭でライオンズを巻き込んだ薬物乱用防止啓発活動を行っていました。小生が所属する東京鶯谷ライオンズクラブが、台東区立下谷中学校で薬物乱用防止教室を行う

際、講師の手配を始め、配布資料、上映16ミリフィルム等の相談をした時以来、付き合いは22年間に及んでいます。

講師として紹介された下谷保健所衛生課長の佐野ウララ女史の熱意と、阿部専務理事の「薬物乱用の未然予防」への熱意により、ライオンズとセンターの共催による「薬物乱用防止教育認定講師」制度が97年、故塩田勇昭地区ガバナーの下、小生が地区青少年指導委員会委員長の時に330－A地区で産声を上げ、第一期として97人の認定講師が誕生しました。その中に山浦晟暉元国際理事、石井征二元議長のお名前もあります。

鈴木正二(333－E)、岡野正義(333－C)、久津間康允(330－B)各元地区ガバナーら多くの皆様が関心を持たれ、00年頃から330－B、333－C、333－E（現在のBとE）各地区に広がりました。その後ライオン鈴木正二が全国の同期の地区ガバナーに普及を提唱し、多くの地区に拡大しました。

07年日本武道館において、センター設立20周年、認定講師制度創立10周年を記念して「薬物乱用防止全国大会」を開催。日本全国のライオンズが薬物乱用防止を目的に一堂に会することが出来ました。

同制度は現在、日本の全35準地区に普及しています。

更に10年から山浦国際理事の、日本から世界に同制度を発信しようというご尽力により、実現の可能性が高まってきたこの時に、キーパーソンである阿部専務理事の急逝は誠に残念です。

18年間、講座が開催される全地区に赴き、大活躍をされた阿部さん。阿部さんと、医学博士ライオン万本盛三（茨城県・土浦環ライオンズクラブ）と小生の三人で、弥次喜多道中さながら、全国認定講師養成会場巡りをした楽しい思い出が今甦ります。4年程前からはライオン舘親光（東京葛飾ライオンズクラブ）が小生に代わり、阿部さんと同行しています。

発足当時は、大きく重いプロジェクターにパソコン、接続ケーブル等を大きなバックに詰めて、劇団地方公演さながらの出で立ちでした。阿部さんは機械音痴で、小生がセッティングを担当。小生が同行出来ない時は、トラブルがないか心配しました。

沖縄で開催した際は、朝一番の飛行機で那覇に入り、会場に向かう途中でソーキそばをかき込み、17時に終了後、とんぼ帰りの強行軍をしたこと、珍しく嬉野温泉に宿を取り夕食を楽しみにしていたが、到着が遅れて夕食抜きの素泊まりになってしまい残念がったこと、福山市の料理屋で3人が1万円ずつ出し合い、オコゼの刺身や鍋をたらふく堪能した楽しい思い出もあります。雪で米子空港に着陸出来ず伊丹空港まで戻され、山陽本線・山陰本線を必死で乗り継ぎ15時過ぎにやっと会場に到着。認定講師の受講者の皆様を待たせ多大な迷惑をおかけしたことも懐かしい思い出です。北海道から沖縄まで、阿部さんとの思い出は尽きません。

ライオンズクラブのためにすばらしい功績を残された故阿部俊三様のご冥福を、全国の認定講師始め全てのメンバーと共にお祈りしたいと思います。

（90年入会／330複合地区薬物乱用防止委員会委員長／69歳）

Close up

庭に来る鳥を彫刻刀で掘り出す
自己流バードカービング

バードカービングというのは木から鳥を掘り出して彩色するものです。1979年に日本で紹介され、その後もカルチャーセンターなどで教室が開かれているんですが、私は15年くらい前、元々鳥も彫刻も好きだったこともあって、千歳の公民館の教室に通い始めたんです。ところが、3カ月で転勤になりましてね。転勤している間はなかなか出来なくて。でも、戻ったらまたやりたいと思っていたんです。それで、戻ってきてから教室でもらった資料を元に自己流でやるようになりました。大体、ここに来る鳥を作っています。ビデオを撮ったりして何を作るか考えますね。

バードカービングはまず、鳥の形を掘り出します。それから色を塗っていくんですが、図鑑や写真で見るのと実際の色が違うこともあって。そのため、ビデオで撮りためていた映像なんかを見て彩色していきます。1羽完成させるには小さいものでも1週間から10日くらいかかりますね。

色も形も1方向から見るとよく分からないので、いろいろなアングルからビデオを撮るように工夫しています。だから、ビデオがものすごい量になってるんですよ。

大体1年に20羽くらい作っているんですが、ほとんど人にあげてしまっています。自己流なんで、恥ずかしいんですが、喜んでもらえるのはうれしいですね。

元々釣りが好きだったこともあって、4年ほど前からは魚の剥製(はくせい)も作っています。これも自己流なんですが、大きいものでは1メートルほどのイトウを作りました。レストランに飾りたいから作ってくれ、と頼まれまして。あれは大変でした。剥製にするためには、中身を抜いて、形を整えた後に乾燥させる必要があるんですが、このイトウの場合は乾燥に1カ月半ほどかかりました。結局、コーティングが終わるまで8カ月くらいかかりましたね。

剥製もバードカービングも、よく失敗しながら少しずつ上達してきた感じですね。色を塗る時なんか、重ね塗りするから、薄い色から塗っていかなきゃいけないのに、最初の頃はつい濃い色から塗ってしまって。結果、どぎつい色になってしまうこともありました。

今後はいずれ、ハイタカとか少し大きめの鳥を作ってみたいですし、バードカービングとは関係なく、椅子なんかも作ってみたいと思っています。

■常川聖夫

つねかわ・たかお　根志越地熱利用組合代表理事。1946年8月4日生まれ。北海道千歳市出身。かつては転勤族だったが、退職する3年前の2006年、親友に誘われて北海道・千歳中央ライオンズクラブに入会。2012年クラブ会長。15年度テール・ツイスター。

構成／井原一樹　写真／内田明人

3.11リレー連載⑯

非常時の連携

大浪 茂
（宮城県・石巻河北ライオンズクラブ）

おおなみ・しげる　1944年宮城県石巻市生まれ。大浪呉服店代表。88年入会。99年ゾーン・チェアパーソン。03年リジョン・チェアパーソン。

私は石巻市飯野川の呉服店（兼自宅）を経営する傍ら、地元の自治会長や行政委員の会長、各種役員を仰せつかっておりました。

あの日の午後も社会福祉協議会の会議に出席しており、会議終了後には共同アンテナ組合の会長として工事の契約を交わす予定でした。

会議が終わりかけた頃、非常に大きな揺れに襲われました。会議室の戸棚類がバタバタと倒れ、施設が倒壊するのではと身の危険を感じましたが、とても歩けるような状況ではありません。3分程の強い揺れの後、すぐにまた大きな揺れに襲われました。それもようやく収まった頃、自宅や店舗の倒壊が心配になり、津波も警戒しました。

大津東一郎332-C地区ガバナー（1999年度当時）に花束を贈呈する大浪（左）

会議に出席していた一人の女性が「家族を迎えに行く！」と、大川地区へ向かおうとしました。強く引き止めたのですが、後に津波にのまれ亡くなったことを聞き、今でも後悔の念に駆られております。

強い余震が何度も襲来する中、6ﾒｰﾄﾙの津波警報が発せられたため、急いで地域に戻り「津波が来る！ 近くの高台（八和田山神社）へ避難せよ！」と、地区住民に呼び掛けました。しかしながら賛同したのは全員ではなく、悔しい思いもしました。飯野川まで津波が到達しなかったことがせめてもの救いです。

津波警報が繰り返され、ラジオで10ﾒｰﾄﾙの津波予想を聞いた辺りから通信手段が途絶え、徒歩での連絡調整を強いられることになりました。

地区から避難した約50人の方々と神社の境内で一夜を明かし、翌朝に自宅へ戻ると、家具や食器類、陳列していた商品などがめちゃくちゃになっていました。それを片付ける暇も無いまま、避難所となった近くの小学校の体育館へ地区住民を誘導し、避難所生活が始まりました。

真冬の体育館は底冷えし、ゴザや毛布では耐え切れない寒さ。地震で電気も水道も止まったため、役所へ発電機やヒーターを要請し、住民には何とかしのいで頂きました。

休む間もなく家屋を失った方々が飯野川地区を訪れ、そして空き家や知人の家に避難していきました。着の身着のままで疲れ果て、やっとたどり着いた避難所には生活用品が何も無いという状態でしたので、我が家に有る物を持ち出して分配し、不足分は役所に相談して支給を受け、何件も支援物資の配布が出来たことを今でも誇りに思っております。

津波の被害を受けた大川地区は見るも無残な状況でした。消防団や自衛隊による捜索活動が行われる中、大川小学校児童らを含む大勢のご遺体が並んだ様子は、今も目に焼き付いて離れません。

報道は名取や気仙沼の被害ばかりを報じ、石巻は駅前周辺のみの報道で、当河北地区にはライオンズからの支援も遅れていました。

数日後にようやく連絡が取れ、避難所や小中学校に多大なる支援を届けて頂いたことに深く感謝を申し上げます。

この震災によって、非常時の連携の重要性を痛感しました。ライオンズもここから学び、報道されない地区とも連携を図れるような組織づくりが出来るよう、誠心誠意我が身を捧げる所存であります。

ふるさと探訪

大阪府河内長野市　取材／河村智子　写真／田中勝明

時代と共に変わりゆく街に ひっそりと残る高野街道の面影

高野街道に酒蔵を構える西條合資会社

かつての旅籠や商家の建物が残る
三日市宿の町並み

宿場の面影を今に残す町並み

大阪ミナミの繁華街・難波と、真言密教の聖地・高野山とを結ぶ南海電気鉄道高野線の河内長野駅前に、方錐型の碑が建っている。京都を起点に高野山を目指す東高野街道、大阪・平野を起点とする中高野街道、堺を起点とする西高野街道の合流点を示す碑だ。三つの道は一本の高野街道となって紀見峠を越え、高野山へと至る。堺から高野山女人堂までの街道沿いには13基の里石道標が置かれ、その全てが今も残っている。河内長野市内にあるのは九里石と八里石だ。

高野街道の面影をよく残しているのが、八里石のある三日市宿の町並みだ。河内長野では昭和30年頃から宅地開発が進み、かつての町並みは次々に姿を消していった。宿場のあった三日市町駅周辺も再開発で整備されたが、駅から少し離れると、道の両側に格子が連なる古い町並みが姿を現す。

街道はこの三日市を過ぎると険しい紀見峠へと向かう。そのため、庶民の参詣者が増えた江戸時代に宿場が開かれて大いににぎわった。1760（宝暦10）年の記録によれば、三日市宿には215軒の家々があり、その多くが旅籠（はたご）や旅人相手の商家で占められていた。そのにぎわいも、1898（明治31）年に南海鉄道高野線の前身である高野登山鉄道が開通すると衰え、宿場町としての役割を終えた。

その町並みの中程に、木綿問屋を経て酒造業を営んだ八木家の建物がある。18世紀後半に建築された平屋建てで、伝統的な町屋の外観をよくとどめている。三日市宿は江戸時代に四度の大火に見舞われたが、火災を免れた八木家の母屋と土蔵は国の登録有形文化財と

高野街道沿いにある「右かうや」の道標

河内長野

KAWACHINAGANO

大阪府河内長野市（かわちながのし）

大阪府の南東端に位置し、東は奈良県、南は和歌山県と接して、金剛山地とそれに連なる和泉山地が両府県を隔てている。南部の山麓地域は豊かな自然に恵まれ、観心寺、金剛寺を始め歴史的価値の高い文化財を多数有する。中世の鋳物師（いもじ）の伝統を受け継ぐ鋳物の産地でもあり、その流れで現在は可鍛鋳鉄やステンレスなどの製造業が盛ん。また豊富な森林資源を生かして、つまようじやすだれの生産も盛んに行われた。一方、昭和29年に長野町と五つの村が合併して市制施行されて以来ニュータウンの造成が進み、大阪市の衛星都市として発展してきた。

面積／109・63平方キロ　人口／10万9580人（2015年11月末現在）

【交通アクセス】

南海電車の大阪・難波駅から南海高野線急行で27分

関西国際空港からリムジンバスで約60分

なっている。その他にも幕末から明治にかけて建築された旅籠や町屋の建物が軒を並べており、今も現役の住宅として使われている。

古い町並みは河内長野駅の近くに酒蔵を構える西條合資会社の周辺にも見られる。1718（享保3）年の創業で、入母屋造に虫籠窓が開かれた旧店舗主屋がその歴史を感じさせる。代表銘柄は天野酒。聖武天皇の勅命で開かれたという天野山金剛寺で造られていた天野酒を、50年程前に復活させた。平安時代以降、大和や河内など各地の大寺院で醸造された酒は「僧坊酒」と呼ばれたが、金剛寺の天野酒は「天野無比類」「美酒絶言語」とたたえられ、多くの戦国武将に愛飲されたと伝わる。太閤秀吉もこれを愛でて、良酒造りに専念するようにとの朱印状を金剛寺に下付している。

河内長野駅と三日市町駅の間の高野街道には、古い町並みの他に戦国時代の山城烏帽子形城趾などの史跡もある。毎年11月には往時の街道のにぎわいを取り戻そうと、高野街道まつりが開かれている。

新酒の完成を祝う西條合資会社の初槽（はつふね）式。地域住民にも参加してもらって作った杉玉が神職により清められ、街道沿いの家々に飾られた

現代に復活した僧坊酒、天野酒（撮影協力／西條合資会社）

楠木正成ゆかりの真言密教寺院

河内長野市の観光キャッチフレーズの一つに「文化財のまち河内長野」とある。市内には国宝6件、重要文化財77件、合わせて83件の国指定文化財があり、その数の多さは大阪府内では大阪市に次いで2番目、全国の市町村の中でも14番目に数えられるのだという。

京都と高野山との往還の途中にあったこの地には、天野山金剛寺、檜尾山観心寺という弘法大師空海ゆかりの真言密教の大寺があり、それら文化財の多くはこの二つの寺で守られてきた。

高野山真言宗遺跡本山の寺格を持つ観心寺は701（大宝元）年、修験道の開祖・役小角が修行道場として草創。815（弘仁6）年に空海が観心寺の寺号を与えたと伝えられる。空海の高弟・実恵が伽藍造営に着手し、寺の基礎を確立した。

弘法大師によって刻まれたと伝わる本尊は、国宝の如意輪観音菩薩像。6本の腕を持ち右膝を立てた半跏像は、密教美術の最高峰とも言われる。長年秘仏とされたためか鮮やかな彩色を残し、慈悲に富んだその姿は毎年4月17、18日の御開帳の時に拝観出来る。

観心寺はまた、楠正成と深いつながりを持った寺でもある。塔頭の一つ中院は楠家の菩提寺で、寺伝によれば正成は8歳から15歳までこの寺で学んだ。正成は鎌倉幕府倒幕を志した後醍醐天皇に呼応し、現在の河内長野市に隣接する千早赤坂村に築いた赤坂城で挙兵。建武新政の立役者となった。倒幕後、後醍醐天皇の命で造営され、正成がこれを奉行した金堂が今に残り、国宝に指定されている。丹塗りを施した柱が鮮やかな金堂は、和様を基調に禅宗様、大仏様を採用した折衷様で「観心寺様

紅葉の名所としても知られる観心寺の金堂

式」と呼ばれる。

その金堂の傍らには、わらぶきの屋根がどこかアンバランスな印象を与える建掛塔（たてかけ）が建つ。本来は三重塔となるはずが、塔の建立を誓願した正成が湊川の戦いで敗れたため、初重が出来たところでそのまま残された。湊川で討ち死にした正成の首級は、足利尊氏の命によって観心寺に送り届けられ、境内奥の首塚に祀られている。

▼取材協力クラブ

河内長野ライオンズクラブ（山本忠行会長／32人）＝1965年4月1日結成／スポンサー：岸和田、岸和田中央ライオンズクラブが最も力を入れている活動は、国際平和ポスター・コンテストだ。市内13校の6年生全員が夏休みの課題としてポスターを描き、市長賞、教育長賞、ライオンズクラブ会長賞の3賞の他に、金・銀・銅賞と佳作53点を選考。河内長野駅前の商業施設にあるホールで2日間にわたり展示を行う。その他、元近鉄バッファローズの選手が指導する少年野球教室や、河川清掃も継続して実施。クラブ結成50周年を迎えた今年度は、記念事業の一つとして市の地域活性・交流拠点「くろまろの里」に施設案内の陶板を寄贈した。

つまようじ：「ようじ」は奈良時代、仏教と共に日本に伝わったといわれる。江戸後期から需要が拡大。森林資源に恵まれ材料となるクロモジが豊富だった河内長野では、明治中頃からようじ生産が地場産業として発展した。約20年前の最盛期には国内シェア95％以上を占め、輸出も盛んに行われた。しかしその後の廉価な中国産の普及により、国内産業はほぼ壊滅状態にある。そんな中、大正6年創業の広栄社は国産「三角ようじ」や歯間ブラシなどのオーラルケア用品専門メーカーとして、歯の健康を守る商品を世に送り出している。

北海道産シラカバ材を使った「三角ようじ」は、平らな面が適度に歯茎を刺激し歯周病予防に効果的だという（撮影協力：広栄社）

読者から――12月号

■掲載事業に感銘を受けた

「SCENE」で取り上げられていた京都シニア ライオンズクラブの糖尿病対策料理教室。魅力的な活動を5クラブで実施しているのが知恵あるアイデアだと感心しました。また、「クラブ・リポート」で取り上げられた仙台シティ ライオンズクラブでは、ジュニアエコノミーカレッジという独特の活動にライオンズが取り組んでいることがすばらしいと思いました。広島城北、広島佐東、広島西北ライオンズクラブの事業では、一人ひとりが出来ることを引き出す活動で、裏方の段取りが大変な事業だと思いましたが、同時にやりがいを感じる事業でした。

私たちも自分たちに出来ることをやってはいますが、ライオン誌で取り上げられている事業を読むと、他にもこんなに可能性があるということに驚かされます。やる気・本気・勇気が大事なんだと思いました。何かの縁をキャッチして、行動出来たらいいと思います。こうした情報を掲載して頂いて感謝しています。

福島東ライオンズクラブ●尾形省二

■会議資料の配布方法

国際理事会リポートの中で、タブレット端末を使って会議資料を配布しているという点に関心を持ちました。地区やクラブの会議もそうあってほしいものだと思います。

会議に出席し、印刷物を持ち帰る度に紙の束が増えるばかりで、後で必要な情報を探そうと思ってもなかなか見つからないこともあります。各クラブもこれからはIT化を進め、キーワード検索出来るファイルで情報を共有するようにしていくべきだと思っています。

広島県・尾道向島ライオンズクラブ●武田智子

■米国では電子から紙媒体に

先日、アメリカでの電子書籍の状況が新聞に載っていました。それによると、「紙の本を選択する比率が高くなっている。書店の登録数も5年前に比べ20％増加しており、大手出版社は印刷インフラや流通システムを強化している」ということでした。

アメリカが紙に逆戻りしているという記事に驚かされましたが、我がライオン誌の電子化に関してはどうでしょうか。PDFまたはオンラインで読める環境にある人が何パーセントいるのでしょうか。その中でライオン誌をデジタル媒体で読みたいと思う人がどれだけいるのでしょうか。まず基礎調査が必要ではないかと思います。

青森県・弘前チェリーライオンズクラブ●秋元義禮

読者プレゼント

■河内長野の天野酒を読者5人に

今月号「ふるさと探訪」（49～53ページ）で紹介した大阪府河内長野市で創醸300年近い歴史を持つ西條合資会社の「特別純米天野酒」（300ミリリットル）を5人にプレゼントします。かつて天野山金剛寺で醸造され、秀吉にも愛された天野酒が、復刻されました。米の旨味とふくよかさを引き出し、ゆったりとした純米酒。常温やぬるめの燗が最適です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「天野酒」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は2月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所・ライオン誌
＊オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉第1問=b.／第2問=b.／第3問=c.／第4問=c.／第5問=b.

もう一度読みたい「あの記事」

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

●1966年9月号　国際会長メッセージ

「ライオニズムの一つの解釈」

エドワード・M・リンゼー国際会長

我が協会を語るには、我々がそうでないことを強調することで、理解されると思います。

我々は社交クラブではありませんが、個々の社会福祉の問題には積極的な関心を寄せています。我々の住む社会の道徳心の向上は追求する目的の一つです。

我々は友愛団体ではないが、あらゆる信念、宗教、国籍、人種の人が集って相互理解の場になることが出来、そこでより強い友愛の絆と同朋精神が生まれることを信じています。

我々は青少年のための団体ではないが、世界各国で青少年を対象とする事業を取り上げており、ライオンズと青少年の関係は切っても切れない縁にあります。我々の青少年交換計画は、幾千の青少年を魅惑し、若者がどんなにか早く外国の風物になじみ、心に受け止めることが出来るかを示す、興味ある実例を生んでいます。

我々は福祉団体ではないが、数多くの不幸な人々がライオンズから恩恵を受けています。ライオニズムの解釈は非常に柔軟性に富んでおり、災害の態様に応じて最も適切な救援を講ずることが出来ます。

我々はスポーツやレクリエーションのための団体でもないが、少年野球リーグを始め、青少年の心身鍛練諸計画は多くの子どもたちを熱中させています。

我々は宗教組織ではないが、我々が生活信条としているところは、古来不変の哲理「汝の隣人を愛せよ」に発しています。

我々は医療保健団体でもないが、集団的個別的に数多くの実績を上げています。

我々は教育団体ではないが、今日、ライオンズによって建てられた学校で大勢の人が勉学にいそしんでいます。

我々は災害救助団体ではないが、例えば1964年のアラスカ地震の時のように、ライオンズの手は迅速に動きます。地震の後の津波で洗いざらい海へ流されたアフォニャックという小さな村は、ライオンズ始めアラスカ、世界の人々からの救援によって、立派に立て直され、村人はこの村の名をポート・ライオンズに改めました。

そうです。我々がそうでないものを列挙してきましたが、同時に、我々はこれら全てを合成したものであるのです。あらゆる特殊事情に適合しうるライオニズムは世界の隅々にまでその奉仕の手を広げるに至りました。

アメリカに生まれたライオニズムの火は、カナダ、メキシコを経て北に南に東西に伸び、今や地球のほとんどを覆っています。

最後に、我々は国際協力機関ではありません。しかし、我々は平和達成のために大きな役割を果たすことが出来ます。奉仕精神に富むライオンズの力を動員し、人々の心の窓を開けて全世界を平和で包むことは我々に課せられた任務です。それは子どもや孫の時代の夢ではなく、現在の我々がやらなければならないことです。気の弱い人は反問することでしょう。「なぜ、偉大で強力な国家でさえなし得なかったことをライオンズがやらねばならないのか」と。我々の答えは簡単です。「今日の世界の葛藤が、我々だけの力で解きほぐせると考える程、我々は単純で若くはない。ただ、我々は、そのための努力をすべきだと考える。我々の力で出来ることをやってみようというのだ」。

ライオン誌例会のススメ
―次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■複数の複合地区がある国

日本には330から337まで八つの複合地区がある。同様に一つの国に複数の複合地区がある国は日本を含めて6カ国。当然のことながらいずれも会員数上位の国々だ。会員数第1位のアメリカは1〜50（47と48は欠番）の48の複合地区、第2位インドは316〜318と321〜324の七つ、第4位韓国は354〜356の三つ、第7位ブラジルはLA、LB、LC、LDの四つ、第9位カナダはA、N、C、Uの四つの複合地区がある。会員数第5位のドイツ、第6位台湾、第8位イタリアの複合地区は一つ。

3月号予告

特集 **追跡・東日本大震災Ⅵ**

2011年3月11日の東日本大震災発生から今年で5年目の節目を迎える。震災以降、本誌が追跡取材を続けてきた岩手県・陸前高田、宮城県・南三陸志津川、福島県・飯舘の三つのライオンズクラブがこの5年間をどのように過ごしてきたのか、その歩みを振り返る。

この日・この月

1989年2月10日、東欧圏で初となるハンガリーのブダペストライオンズクラブの認証状が発行された。チャーター・メンバーは大学の副学長やジャーナリスト、ピアニスト、ホテル支配人など女性8人を含む27人。スポンサー・クラブはフィンランドのヘルシンキ・ハカニエミライオンズクラブだ。この歴史的なエクステンションの最大の貢献者はレオ・リンドブロム元地区ガバナー。ハンガリー政府にクラブ設立の承諾を得るため、何度も現地を訪れて組織や運営について粘り強く説明した。最も苦心したことの一つは、国際会則及び付則をハンガリー語に翻訳し、文科省の閣僚に提出したことだという。

ブダペストの中心部を流れるドナウ川と鎖橋

初代会長のライオンラズロ・チェグレディは、当時のライオン誌本部版に次のようなコメントを寄せている。

「私たちは社会をより良くする共通の目的の下に活動する組織に加盟しました。ライオンズクラブ国際協会は世界の人々の間に相互理解を深め一つに結ぶことを願っています。ヨーロッパ中部では数々の悲しい出来事がありましたが、私たちはなお人道と真理、そして生活改善への人々の願望に希望を抱き続けようではありませんか」

この年、ハンガリーに続いてポーランド、エストニア、ルーマニアでクラブが結成され、翌90年にはユーゴスラビア、更にはロシアへと旧社会主義国へのエクステンションが相次いで実現した。

クイズ de 例会

〈第1問〉第54回東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラムが開催された都市は？

a. シンガポール
b. バンコク　c. 香港

〈第2問〉日本を含む会則地域5の東洋・東南アジア地域。その略語は？

a. FOLAC　b. OSEAL
c. ISAAME

〈第3問〉会則地域6のインド、南アジア、アフリカ及び中東地域の略語は？

a. FOLAC　b. OSEAL
c. ISAAME

〈第4問〉クラブが国際大会に派遣出来る代議員は会員何人ごとに一人？

a. 15人　b. 20人　c. 25人

〈第5問〉100周年記念奉仕チャレンジの四つの奉仕分野は、青少年、視力、食料支援と何？

a. 保健　b. 環境
c. 災害救援

★回答は54ページ下

Official publication of Lions Clubs International

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行されるー英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

日本ライオンズ事務所・ライオン誌
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777（代）　FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編集室

大変な時代

ライオン誌
日本語版委員
◉
久津間康允
（神奈川県・小田原白梅）

　ロボットが労働力として活躍するということは、私たちの生活を便利にしてくれる一方、人々の職を奪うことにもなりかねない。ロボットや人工知能の進化は２０２５年までに確立して職を奪うという記事に接するに当たり、人間に取って代われる職業（単純に就業者全体の49％予想）が出てくるという不安も次第に現実味を帯びてきた。時代の変化は著しい。高度な思考や信頼関係を求められるような仕事は安全圏だと言う。しかし、進化の速度が速いため、予測するのは難しい。今でも日常生活の中でロボットと言えるものが目に見えて活躍している。ＩＴ社会になって早15年、10年前には夢物語だったものが今や現実のサービスとして誰もが手軽に利用出来るようになり、情報の受発信も便利になっている。アナログ派の私は、変化に追いつくべく日々研鑽を重ねている。

　国際理事会は２０１８年１月からの公式版ライオン誌のデジタル化を決定した。本部版は17年7月からデジタル版への切り替えを予定している。発端は環境保全の観点からペーパーレスにするべきというアフリカ選出の国際理事の提案だと聞く。デジタル化に向けて、予算の削減や事務所合理化の方向性を模索しているところだ。

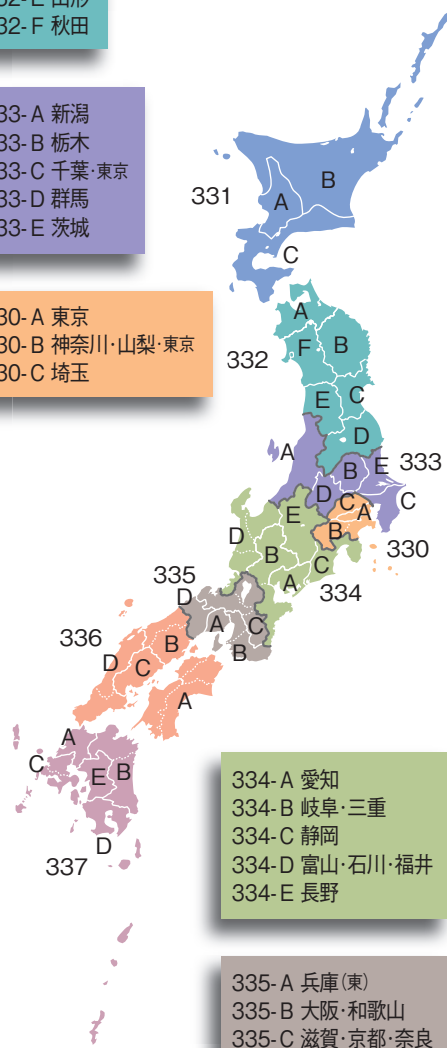
　この通達はライオン誌委員会にとって晴天の霹靂であった。現在のライオン誌は国際協会からの会員1人当たり年間6ドルの補助金と、同じく年間６００円の特別負担金で運営されている。仮に協会の補助が無くなれば、今まで通りの運営が出来なくなるのは火を見るより明らかであるからだ。ただデジタル化の詳細は3月の国際理事会で決定されるとのことで、案ずるより産むが易しでそれを待つしかない。

　この案件を機に三十数年来の課題であった日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所の統合が実現した。合理化の一つである。

　大変な時代である。大変とは大きく変わることであるから、合理化には痛みも伴う。私たちは過去に戻ることは出来ない。従って未来に向けての改革が必要だ。それをやるのは、今でしょ！

日本ライオンズクラブ分布図

2015.12.31　eMMR ServannA報告による

地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性（割合）	子会員	増減	男性	女性
330-A	202	6,492	67	4,706	1,786（27.5）	1,857	28	606	1,251
330-B	166	4,842	73	3,995	847（17.5）	625	25	176	449
330-C	87	2,431	-2	1,965	466（19.2）	391	-23	112	279
330 計	455	13,765	138	10,666	3,099（22.5）	2,873	30	894	1,979
331-A	73	2,817	47	2,256	561（19.9）	515	15	98	417
331-B	85	2,761	82	2,236	525（19.0）	454	21	57	397
331-C	53	1,994	41	1,637	357（17.9）	339	33	90	249
331 計	211	7,572	170	6,129	1,443（19.1）	1,308	69	245	1,063
332-A	64	2,130	49	1,665	465（21.8）	356	25	75	281
332-B	53	2,441	26	1,607	834（34.2）	826	31	133	693
332-C	68	1,878	58	1,337	541（28.8）	497	14	103	394
332-D	73	2,510	98	1,931	579（23.1）	522	48	107	415
332-E	56	2,068	45	1,614	454（22.0）	394	30	60	334
332-F	45	1,436	37	1,047	389（27.1）	342	29	60	282
332 計	359	12,463	313	9,201	3,262（26.2）	2,937	177	538	2,399
333-A	75	3,368	60	2,621	747（22.2）	714	4	167	547
333-B	49	1,642	79	1,068	574（35.0）	458	43	104	354
333-C	133	3,765	-15	2,879	886（23.5）	697	-24	253	444
333-D	54	2,482	156	1,760	696（28.3）	727	87	169	558
333-E	79	4,530	183	2,973	1,557（34.4）	1,725	107	440	1,285
333 計	390	15,787	463	11,301	4,460（28.3）	4,321	217	1,133	3,188
334-A	119	7,206	160	4,717	2,489（34.5）	2,577	118	532	2,045
334-B	81	5,330	-59	3,440	1,890（35.5）	2,229	-53	511	1,718
334-C	80	3,794	17	2,978	816（21.5）	783	-1	113	670
334-D	99	6,226	47	3,975	2,251（36.2）	2,383	-6	416	1,967
334-E	52	2,664	89	1,888	776（29.1）	800	53	205	595
334 計	431	25,220	254	16,998	8,222（32.6）	8,772	111	1,777	6,995
335-A	84	2,206	50	1,754	452（20.5）	199	14	30	169
335-B	171	6,912	367	4,986	1,926（27.9）	1,681	253	341	1,340
335-C	119	4,238	119	3,528	710（16.8）	451	61	96	355
335-D	64	2,061	63	1,635	426（20.7）	309	44	74	235
335 計	438	15,417	599	11,903	3,514（22.8）	2,640	372	541	2,099
336-A	148	6,365	174	4,762	1,603（25.2）	1,239	110	229	1,010
336-B	95	3,318	200	2,714	604（18.2）	379	167	55	324
336-C	96	3,482	304	2,993	489（14.0）	322	284	52	270
336-D	95	3,482	258	2,898	584（16.8）	399	199	36	363
336 計	434	16,647	936	13,367	3,280（19.7）	2,339	760	372	1,967
337-A	116	6,018	310	4,137	1,881（31.3）	1,646	264	351	1,295
337-B	69	3,045	56	2,167	878（28.8）	879	41	175	704
337-C	82	4,416	74	2,886	1,530（34.6）	1,630	79	483	1,147
337-D	78	2,469	48	2,099	370（15.0）	220	28	37	183
337-E	57	1,753	90	1,446	307（17.5）	199	61	54	145
337 計	402	17,701	578	12,735	4,966（28.1）	4,574	473	1,100	3,474
総計	3,120	124,572	3,451	92,300	32,246（25.9）	29,764	2,209	6,600	23,164

世界のライオンズ

2015.12.31　国際協会集計

国または領域………210　クラブ数………46,397
会員数……1,382,071　会員数増減……4,154

奉仕の歴史を奉仕で祝う
100周年記念奉仕チャレンジ

2年後に迫った協会創設100周年祭を、ライオンズの神髄である奉仕によって祝おうと、昨年度から「100周年記念奉仕チャレンジ」がスタートしました。「青少年の奉仕を促そう」「視力を分かち合おう」「食料支援をしよう」「環境を保護しよう」の四つの奉仕分野で各クラブが事業を行い、それぞれ2500万人、計1億人に奉仕しようという挑戦です。実施期間は2014年7月から18年6月までで、4年度にわたって続けられることになります。

YOUTH
2500万人に貢献

青少年の参加を促そう - 地域の青少年を助ける奉仕事業を行ったり、あるいはレオや地域の青少年に一緒に奉仕を行ってもらい、次世代のボランティアを育てることも出来ます。

VISION
2500万人に貢献

視力を分かち合おう - 目の不自由な子どもや隣人の役に立つ事業を計画して、視力の贈り物をしましょう。

HUNGER
2500万人に貢献

食料支援をしよう - フードドライブ（食品回収）や炊き出し支援活動などを通じて、家庭や地域の健康を支えます。

ENVIRONMENT
2500万人に貢献

環境を保護しよう - 環境を保護・美化する事業を企画し、皆にとって住みよい町づくりを目指しましょう。

ライオンズクラブ国際協会創設100周年のテーマは、「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」。
地域のニーズに応えるアクティビティで、100周年祭を祝う記念奉仕チャレンジに参加しましょう。

ライオン誌２月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価１８０円　送料実費78円
２０１６年（平成28年）１月20日発行　毎月１回20日発行　第58巻第８号
発行所　日本ライオンズ事務所・ライオン誌　〒１０４・００２８ 東京都中央区八重洲２・６・15 ＪＯＴＯビル９階 Tel ０３・６６７４・８７７７
印刷所　凸版印刷株式会社

99th ライオンズクラブ国際大会

～福岡市にて開催～

期間 2016年6月24日(金)～28日(火)

Do for People Do for World

99th International Convention
2016 Fukuoka Japan

スローガン「動き出そう!人々のために、世界のために」
Do for People Do for World

今、世界はライオニズムの情熱と献身的な奉仕を切望しています。
全ての国家と民族に自由と正義を保証する平和を実現するために、世界中のライオンは堅く団結し、人々の期待に応えようではありませんか。

創立100周年のシカゴ大会を目前にして、2016年には当地福岡にて「第99回ライオンズクラブ国際大会」が挙行されます。
全世界から多くのライオンが一堂に会し、感動的で有意義な誇るべき大会になることでしょう。
ホスト委員会(MD337)をはじめ、福岡県、福岡市、地元の様々な民間企業が一体となって
おもてなし(OMOTENASHI)の心で皆様をお迎えできるように、総力を挙げて取り組んでまいります。

ぜひともご登録・ご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。福岡が皆さんをお待ちしています！
※二行目はメルビン・ジョーンズのお言葉です。

主要会場

・本部ホテル

・インターナショナルショー　・初日総会(開会式)
・２日目総会　・最終日総会(閉会式)

・展示ホール　・物販ブース　・フードコート
・投票

・大会登録　・参加キット受け取り　・セミナー
・会議

国際大会の主なスケジュール（予定）

6月24日(金)
- **大会登録や参加キットの受け取り**
  午前10時～午後5時・福岡国際会議場
- **展示ホール**
  午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡

6月25日(土)
- **インターナショナルパレード**
  午前10時スタート・福岡市のメインストリート明治通を行進します
- **展示ホール**
  午前11時～午後5時・マリンメッセ福岡
- **インターナショナルショー**
  午後7時～8時15分・ヤフオクドーム

6月26日(日)
- **初日総会／開会式**
  午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- **展示ホール、セミナー会議**
  午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

6月27日(月)
- **２日目総会**
  午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- **展示ホール、セミナー会議**
  午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

6月28日(火)
- **投票**
  午前7時30分～10時30分・マリンメッセ福岡
- **３日目総会／閉会式**
  午前10時～午後1時30分・ヤフオクドーム

☆ヤフオクドーム、マリンメッセ福岡、福岡国際会議場への入場には、国際大会への参加登録者に用意される「参加登録証」の着用が必要です。
☆ホスト委員会の活動状況、大会スケジュール等については随時ホームページに発表していますので是非ご参照ください。
ライオンズ会員専用ページへログインする為のユーザー名は「lions」パスワードは「japan」です。

第99回 ライオンズクラブ国際大会　ホスト委員会事務局
〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3　ヒルトン福岡シーホーク
Tel／092-407-8199　Fax／092-407-8948　E-mail／lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp

http://lions99-fukuoka.jp